

Copyright Notice

This document is provided under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 4.0 International License (CC BY-NC-SA 4.0):

<https://creativecommons.org/licenses/by-nc-sa/4.0/>

You are free to:

- Share — copy and redistribute the material in any medium or format
- Adapt — remix, transform, and build upon the material

Under the following terms:

- Attribution — You must give appropriate credit to the publisher, provide a link to the license, and indicate if changes were made. You may do so in any reasonable manner, but not in any way that suggests the licensor endorses you or your use.
- NonCommercial — You may not use the material for commercial purposes.
- ShareAlike — If you remix, transform, or build upon the material, you must distribute your contributions under the same license as the original.

About the Project

This document was created with the permission of participating publishers as part of the Japanese Multi-Volume Sets Discoverability Improvement Project, funded by the Council on East Asian Libraries and the Mellon Foundation for Innovation Grants for East Asian Librarians.

一九一三(大正二)年五月〜一九一六(大正五)年四月

十一九一七(大正六)年九月〜一九二二(大正一〇)年一月

『新真婦人』解説・総目次・索引

不二出版

『新真婦人』 総目次・凡例

一、本総目次は、復刻版刊行にあたって、『新真婦人』第一号〜第三六号（一九一三年五月〜一九一六年四月）及び復刻版「付録」の第五三・六〇〜六二・六四・六五・八〇・八二〜八四・九一・九五・一〇二号（一九一七年九月〜一九二一年一月）の総目次を作成したものである。

一、原則として仮名遣いは原文のままとし、旧漢字、異体字はそれぞれ新漢字、正字に改めた。

また、明らかな誤植、脱字以外は原文のままとし、人名その他もあえて統一をはからなかった。

一、標題は原則として本文に従った。副題及び小題は基本的に——（ダッシュ）の後に示した。

一、括弧内の注記は、目次及び本文の標題にのっとり付したが、*印は編集部が補足したものである。

一、総目次はできるだけ詳細に記載するよう努めたが、目次、奥付、広告等には原則として触れなかった。また表紙画及びカットについては署名の明瞭なもののみ採用した。

一、通信欄「東西南北」の西川文字の一文は、署名のある場合を除き省略した。

一、原則としてルビは付さなかった。

一、隠しノンブルには（）を付した。

『新真婦人』

第一号 一九二三(大正二)年五月一日

第二回婦人雄弁会(*予告)

口絵 覚醒

宣言

女の不自由

婦人の覚醒(談)

逝きし子よ(*詩)

結婚道徳、恋愛道徳の批評の批評

俳句

女性の自覚

西川文字様

口語詩 どうしやう／紅い着物

短歌

上古の女——日本女性史の一

『欧米女子立身伝』(*書籍紹介)

男優りの女

カフェーの電話

恋愛と自覚

反響

野の声

狸趣味

内田魯庵先生と語る

編輯局より

独乙の婦人

女優生活

生田長江先生と語る

小供の日記

談話室

婦人雑誌の口絵(村井夫人談)／江木文庫

(一記者)／田舎の婦人(相馬御風談)／芝

居ずき(長谷川時雨談)／露西亞の婦人(瀬

沼夏葉談)

東西南北

熊本より

小口みち子 23 〳 28

木村 駒子 29 〳 34

神田駿河台賛成者の一人／さふね 34・42

鳥林あぐり 35 〳 37

尾崎 恒子 37 〳 39

西川文字、(*内田魯庵) 40 〳 42

加藤さき子 43 〳 44

上山 浦路 44 〳 45

西川文字、(*生田長江) 46 〳 47

西川 文字 48

西川 文字 48

西川 文字 48

西川 文字 48

西川 文字 48

西川 文字 48

西川 文字 48

西川 文字 48

西川 文字 48

西川 文字 48

西川 文字 48

23 〳 28

29 〳 34

34・42

35 〳 37

37 〳 39

40 〳 42

43 〳 44

44 〳 45

46 〳 47

48

48

48

48

48

48

48

48

48

48

48

28

34

42

37

39

42

44

45

47

48

48

48

48

48

48

48

48

48

48

48

第二号 一九一三(大正二)年六月一日

二十世紀の問題は婦人問題

塚原渋柿園、文責・西川文字 28〜30

婦人問題研究会(*予告)

口絵 天空の嬰兒

血の香(口語詩) 木村 駒子 31〜32
 思想と実生活 宮崎 光子 34〜38
 新真婦人会(*詩) S A 38

シエレーの詩(*「雲」より) (*シエレー)

あぐり 前付5

口絵の説明

前付6

宣言

行く春(*詩)

新真婦人社編 小口みち子 39〜41

三種の婦人運動

西川 文字 2〜4

所感 小口みち子 42

(*名句)

ホイットマン／英国一婦人記者

和歌 青木露／中野寿恵／小林登起／優花／夕花 43〜44

柳小路より(*詩)

柏 女 5

男女交際論(上)

西川 文字 6〜10

俳句 夏山茂子選

聖ニコライ号の船上にてトルストイ翁を見し記

クロープリン、瀬沼夏葉訳

小島英子／井原珠子／横川浪子／河原恒子／石山照子／芦田静子／馬場蝶子／村上琴子／山本明子／松下春子／野村豊子／小林松子／片桐潤子／稲葉茂子／鬼沢延子／吉原富子／梅山喜美子／大塚秀子 44

小説 彼女の罪

鳥林あぐり 13〜16

恋愛より芸術へ

木村 駒子 17〜22

我の発展

相馬 黒光 23〜25

宮崎光子様

沼波 瓊音 25

婦人の生命

中島 俊子 26〜27

神武天皇以来の大問題(訪問)

中島 俊子 26〜27

離縁の場合(高野重三談)／女が無くなつたらドウでしょう(某夫人)／嫁と姑(某夫人)

中島 俊子 26〜27

神武天皇以来の大問題(訪問)

中島 俊子 26〜27

談) / 出て行け! (某夫人) / 火にも焼けない
 或もの (河野せき子談)

編輯局より

45
 46
 47
 48

(*読者からの手紙)

宮田脩先生より / 塚原先生より / 金沢啓助氏

より / 歌路女史より / 野村様より / 樋口緑子

様より / 其他小石川の佐藤様 / 田村俊子様よ

り / 木村駒子様より

47
 48

第二婦人雄弁会

一 記者

48

(*小文)

ときのこと

48

新らしき化粧法

48

新刊紹介

坂本正雄『廿世紀の男女』 / 高橋正熊編著

『ナイチンゲール』 / 山野政太郎編『英漢和

論語』 / 純一房主人『大恋愛学』 / (*その

他)

49

懸賞募集

50

(*画)

(*渡辺文字)

表紙・前付2・1

第三号 一九一三(大正二)年七月一日

口絵

前付5

宣言

1

婦人問題の中心点

西川 文子

2
 4

長詩 林のさゝやき

柏 女

5

夫の不品行を苦にせる御婦人方に

高島平三郎

6
 8

之れからの婦人

記者

9
 10

一、強い女

記者

9
 10

二、婦人の実力

安部 磯雄

10

三、潰しのきく婦人

藤生てい子

10
 12

一口ばなし

木村 駒子

12

他山の石

我國の新しい女 (『世界雑誌』)

13

新真婦人会の長所短所 (『世界の日本』)

三宅 雪嶺

13
 14

新婦人、旧婦人 (『新修養』)

加藤 咄堂

14

実質、実力 (『新紀元』)

山脇房子 / 下田歌子

14

(*無題) (『新仏教』)

14

新真婦人の内容を論ず(『修養世界』)

乙部 吞海 14

ん

記者 25
26

婦人の自ら省みるべき事(『斯民家庭』)

坪野平太郎 14
15

俳句

新真婦人社編 27
29

自覚せる新女徳の価値(『大正婦人』)

薄井 秀一 15

花 かしけれ(*詩)

メーテルリンク 小口みち子 31

家庭園芸

川浪 胡風 15

偶感

安達 32
36

吉川たみ子 38
40

聖ニコライ号の船上にてトルストイ翁を見し記

クープリン作、瀬沼夏葉訳 16
18

理容館訪問の記

一記者 40
42

研究 オリブ・シユライネル女史著『婦人と労働』を読む

(*オリブ・シユライネル)、高野重三訳 19
23

募集文芸

短歌 川端津根/正親町ゆみ子/藤井たね/藤井夕子 42

談話室

婦人と大志(花村) / 孝経にありますか(高野重三談) / 存外単純です(一記者) / 小供が好きで(池田蕉園談) / 迷信かも知れぬ(尾竹一枝談)

俳句 夏山茂子選

新しい老人

(一) 矢島楯子さん / (二) 森村市左衛門さ

24
25

新しい老人

(一) 矢島楯子さん / (二) 森村市左衛門さ

編輯だより

文子 44

(*短歌/俳句)

孤蝶 43

沢村園子/稲葉茂子/吉原富子/吉波良子 / 福田福子/片桐潤子/岩田登代子/岩谷勝子/浜田直子/久米高子/山里絹子/川崎浜子/石井邦子/小林愛子/選者

42
43

婦人問題研究会

新刊紹介

柴山五郎作『最近の肺結核療法』／原田琴子
『ふるへる花』／平塚明子『肩ある窓にて』
／『近時の婦人問題』／『大正之日本』／
『佐和山主水』／『オキシバサー』

東西南北

高島円氏より／笈潮氏より／野村氏より／森
村市左衛門氏より／中島孤秋氏より／坂本正
雄氏より／宇多路氏より／宮田修先生より

(*画)

(*渡辺文子)

表紙・前付2〜3・1・5

第四号 一九二三(大正二二)年八月一日

(*画)

(*小川芋銭)

表紙

口絵 奢侈女の死後の処刑

ヂー・セガンチニイ 前付5

宣言

1

口絵の説明／表紙画の解

2

婦人と大志

西川 文子 3〜5

女も時に裸体とならねばならぬ

安達 5

夫の不品行を苦にせる御婦人方に

綱島 佳吉 6〜8

彼の世の小町より(*贈答の歌)

あぐり 8

尊き婦人ジョンソンさん

柳子 9〜11

山登りの流行

一記者 12

婦人脱線論

高野 重三 13〜14

内ヶ崎作三郎先生より

(*内ヶ崎作三郎)

14

智識の後見

高島平三郎 15〜16

一口ばなし

駒子 16

談話室

ホントの夫婦ぢやない(向軍次談)／不都合

なる夫人達(安井哲子談)／生活と芸術と事

業(田村俊子談)／存外着実な女優生活(林

千歳談)

17〜18

女子職業論

吉岡 弥生 19〜20

(*埋草)

20

恋の名だて(*詩)

柏女 20

小説 十四の恋

露子 21〜23

日本女性史(四)

新真婦人社編 24〜26

江木博士談片 (＊江木 衷) 26

(＊名句) シ ヨ ー 26

家庭衛生 オキシパサー (酸素療法) 一 記者 27 ～ 28

八ツ岳山麓農場日記 吉川たみ子 29 ～ 32

松井須磨子論 西川 文子 33 ～ 36

他山の石 巖野 清子 37

夫婦喧嘩の必要 (『新小説』) 巖野 清子 37

眼は小供から少しも離れぬ英国婦人 巖谷 小波 37

生命の源——文化の泉 (『六合雑誌』) 内ヶ崎作三郎 38

婦人問題に就て (『道』) 下田 歌子 37 ～ 38

意志の強い女 (『新紀元』) 岸辺 福雄 38

婦人に肝要な新しき覚悟 (『斯民家庭』) 江木 衷 38

有機社会の一分子 (『中央公論』) 富士川 游 38

男女対等 (『中央公論』) 島村 抱月 38

桃の実 (短歌) 小口みち子 39

前回講演筆記の正誤 高野 重三 40

円窓よりを讀みて 木村 駒子 41 ～ 42

募集文芸 小口みち子選

短歌 長田雪枝／岩崎寿枝／藤井タネ／浅井ゆき

子／松丸稲子／選者 夏山茂子選

俳句 片桐潤子／松丸稲子／吉原とみ子／吉波良

子／片桐くみ子／賀田桐江／山崎琴子／大

矢とく子／竹村房代／磯部高子／森豊子／

吉本静子／木村愛子／選者 有田 倭文 44 ～ 45

現実へ (＊詩) いざこと問む東鳥 如 水 45 ～ 46

東西南北 大阪より (宮崎光子)／藤生てい子女史より

／尾崎恒子女史より (＊返信・文子) 47 ～ 48

婦人問題研究会 新刊紹介

黒岩周六『予が婦人観』／西川光次郎『婦人

運動』／『中央公論』婦人問題号 49

投稿募集

(＊画) (＊渡辺文子) 前付2～3・1

貞操 (『新仏教』)

薄井 秀一 12

研究 寄生論 第一章 (オリブ・シユライネル

女史の『婦人と労働』紹介の二)

第五号 一九二三 (大正二) 年九月一日

(＊オリブ・シユライネル)、高野重三 13～17

(＊画) (＊小川芋銭) 表紙

(＊短歌) 婦人の精神病

石 川 17

口絵 視よ我戸の外に立て叩く

ホルマン・ハント 前付5

カタンカ (飼犬の名) ちエホフ、瀬沼夏葉 18～21

瀨沼夏葉 18～21

かたらいの少女 (＊詩)

川浪 胡風 21

口絵の解 (雅歌) / 表紙画の解 (芋銭)

前付6

児童の本能

一 記者 22

宣言

日本女性史 (伍)

新真婦人社編 23～25

新聞紙の婦人に対する態度

2～4

家庭衛生 私の家庭からドウして病魔を退治し

ましたか (談)

斎藤秀三郎氏夫人

26～27

女の五才能

小口みち子 5

八ツ岳山麓農場日記 (二)

吉川たみ子 28～31

フィシアール・アウ井ン、鳥林あぐり 6～10

与謝野晶子女史の談片

(＊与謝野晶子)

31

啞蟬 (＊埋草)

募集文芸

他山の石

短歌

小口みち子選

新しい女の新計画 (『婦人評論』) なでしこ 11

婦人と社会改善 (『六合雑誌』) 田中 久子 11

婦人と田園趣味 (『斯民家庭』) ゴー・モレン 11～12

林美禰子 / 日暮静子 / 村磯象の子 / 岩崎 多子 / 高橋かや子 / 正親町ゆみ子 / 藤井 夕子 / 松丸稲子 / 近藤なほ子 / 矢萩露子 / 選

船中で花の販売 (『家庭の園芸』) 矢作 栄蔵 12

者 32～33

俳句

夏山茂子選

石山薫子／木村小夜子／長谷川清子／吉波

良子／松丸稲子／沢村園子／吉原とみ子／

片桐潤子／賀田桐江子／岩田豊子／海老沢

鉄子／鈴木かね子／斎藤とみ子／山崎恵久

子／森あき子／選者

丁抹の婦人

理容館の施術室

妙な原則

東西南北

(＊俳句)

軽井沢より(山の神／山霊)／白耳義より

(石川)／渡辺文子様より／元町より(渥美

勝)／軽便しみぬき油／腋臭患者の新福音

新刊紹介

磯村春子『今の女』／黒岩涙香『小野小町』

／九阜亭主人『軽井沢』／鉄道院編『鉄道沿

線遊覧地案内』

附録

夫の不品行と妻の不品行

貴問に答ふ

負けたなあ

『夫婦間の談話』と『夫の不品行を苦にせる御

婦人方へ』と

『夫の不品行を苦にする婦人方のために』

内ヶ崎作三郎

家庭の不和

編輯局より

投稿募集

(＊画)

前付2／3・1・6・18・28・36

第六号 一九一三(大正二)年一〇月一日

(＊画)

(＊小川芋銭)

口絵

イサベラ

ホルマン・ハント

前付5

表紙

「イサベラ」より（*詩）

きのこの精

キートン 前付6

（*オリブ・シユライネル）、高野重三訳

41〜46

灯火中の顔（*画）

小川 芋銭 (1)

赤ン坊展覧会

西山 哲次

47

婦人と社会改善

U・O 2

蓑虫（小説）

鳥林あぐり

48〜54

同情

西川 文子 2〜8

ラヂウムの話

渡辺 鼎

55〜56

ナポレオンの夫婦喧嘩

柳 子 8

流行

東西南北

56〜57

雨の田端より

日向きむ子 9〜14

高野重三氏より／木陰の女より／吉川たみ子

『煤煙』を読む

中古の女 14

氏より／尾崎恒子氏より／中島女史より／尾

新しい女の犠牲

高安 月郊 15〜19

竹一枝氏より／高橋里子氏より

58〜59

親の心づくし（*『大阪日々新聞』より転載）

新刊紹介

暁烏敏『凋落』／大村仁太郎編述『我子の悪徳』

59

秋の夜話（小説）

川口 露子 20

募集文芸

静江さんに

小口みち子 21〜26

俳句

夏山茂子選

今後の婦人

座古 愛子 27〜29

天野露子／石山治子／沢村園子／小倉文子

瀕死のをとめ（*短歌）

茅原 華山 30〜32

／森野たけ子／前田津優子／吉波良子／松

カシタンカ（飼犬の名）

小口みち子 32

丸稻子／片桐くみ子／吉原富子／長田雪枝

私は君主です

チェホフ、瀬沼夏葉訳 33〜38

子／稻葉茂子／福田ゆきよし／選者

60

（*短歌）

桃 代 39〜40

短歌

小口みち子選

研究 婦人寄生論 第二章（オリブ・シユライ

正親町ゆみ子／近藤なほ子／日暮静子／藤

ネル女史の『婦人と労働』紹介の三）

井タネ／散花／夕村暮人／竹内二美子／長

40・46

田雪枝／松丸稲子／夢野和香子／選者 60 61
投稿募集 62

(＊画) (*渡辺文子)

前付2 3・21・33・48・58

第七号 一九二三(大正二)年二月一日

(＊画) (*小川芋銭) 表紙

口絵 オフエリア ミレ 前付9

ハムレット、中王妃のせりふ(*坪内逍遙訳) 前付10

灯火中の顔(*画) U・O 1

日誌の利用 記者 1

婦人と実生活 西川 文子 2 6

善き家庭より不良少年の出るわけ 露 子 7 9

秋五首 座古 愛子 9

生活状態の変遷と女性 高島平三郎 10 12

獅子吼(一)(二) 小口みち子 12 22

勤儉力行の西洋婦人 吉野 作造 13 15

真の江戸ッ子の家庭(談) 吉田静太郎 15

カシタンカ チェホフ作、瀬沼夏葉訳 16 19

母の情(わが子の急に赴く汽車中の十時間)

吉川たみ子 20 22

男の罪 吉岡 弥生 23

一口ばなし 国民性の差 あぐり 23

女人国記(一) 新真婦人社編 24 28

歌(六首) 柏 女 28

小供の恩人 (一) 西島義豊師 一 記者 29

研究 婦人寄生論 第三章(オリヴ・シュライ

ネル女史の『婦人と労働』紹介の四)

オリブ・シュライネル、高野重三訳 30 46

ニコ／＼小供大会 ふみ 子 46

田中正造翁の最後と夫人(談) 木下 尚江 46

〇〇〇兄に 座古 愛子 47 48

離婚せる友に与ふ 小口みち子 49 51

結婚の沿革 高橋 達子 52 54

産褥 文 55 58

二日の記 みち 子 59 60

新刊紹介

浮田和民『新道德』／加藤咄堂『婦人の修

養』／意表『恋の真理』／その他 61

編輯局より

児童服の福音／牧田の牛乳

61 灯火中の顔（*画）
古巢のあたり

U・O
小口みち子
2 1

募集文芸

俳句

すみ子選

芸妓論に就て

西川 文子
2 6

福田ゆきよし／沢村園子／吉原とみ子／片

児童に関する新しき智識

露 子
7 9

桐くみ子／吉波良子／藤島露子／稲葉茂子

所謂囚はれぬ婦人

柏 女
9 9

／松丸稻子／選者

歌（六首）

鳥林あぐり
10 12

短歌

小口みち子選

婦人自省論

座古 愛子
13 13

林みね子／藤島露子／長田雪枝／林美禰子

亡き院長を偲ぶ

性慾問題
高島平三郎
14 17

／福田ゆきよし／藤井夕子／小川碧水／松

男女分業論（婦人と戦争）（オリブ・シユライ

ネル女史の『婦人と労働』紹介の五）

丸稻子／矢萩露子／村磯象の子／近藤なほ

オリブ・シユライネル、高野重三訳

18 24

子／日暮静子／正親町ゆみ子／選者

62 63

講演会の記

64

（*埋草）

伊藤 証信
25 28

従順の徳

（*小生夢坊）

クリスマスの堯（*画）

み ち 子
26 28

翠溪歌集をよむ

チエホフ、瀬沼夏葉訳

29 32

（*画）

（*小川芋銭）

表紙

カシタンカ

新年号予告

口絵 捨身

カルデロン

前付 9

結婚問題

高橋 達子
33 36

口絵の説明

前付 10

愁人

座古 愛子
37 39

女人国記(二) 新真婦人社編 40〜42

(*埋草) 玉露女 43〜44

是?非? 吉川たみ子 45〜46

八ヶ岳農場日記(三) ハアデング氏と語る (*ハアデング/西川文子/西川光次郎、文責・一記者) 47〜48

私の理想 有田 しづ 49〜50

処女の心 斎藤 模子 51

東西南北 河野桃乃女史より/杉浦ふで子様より/高田集蔵氏より/坂本正雄氏より/高橋鷹蔵氏より/伊藤朝子様より/池内澄子様より/平沢福子様より/小口みち子様より/小生恒子様より 52〜53

新刊紹介 松崎天民『女八人』/横山源之助『南米ブラジル案内』/宮地猛男『細君の選び方』/『ジャン・ダーク一代記』 53

寄贈雑誌 53

募集文芸

短歌 小口みち子選

月岡美代子/福田ゆきよし/藤島露子/林美禰子/正親町ゆみ子/鳥谷部みよ子/藤井夕子/近藤なほ子/長田雪枝/斎藤横子

俳句 藤浪露子/森野英子/稻葉茂子/沢村園子

片桐くみ子/吉原とみ子/林みね子/吉波良子/選者

三銀の湯豆腐なべ 十一月講演会の記

投稿募集

第九号 一九一四(大正三)年一月一日

口絵 西海湖より見たる富士山

小さき声にも 記者

(*画) 西川 文子

夫婦論 芋 1

夫婦俳人(*『俳味』より) 吉川たみ子 7〜9

逆境に立つた時の夫婦 6

前付 13

記者 1

芋 1

西川 文子 2〜6

吉川たみ子 7〜9

6

細君孝行論	九里原 繁	10	思出の記(一)	西川 文子	53
本社の相談部	新真婦人社	12	御婚礼の御化粧	遠藤はつ子	57
滝口入道より尼横笛へ	高安 月郊	13	投稿募集		58
横笛より滝口入道へ	日向 きむ	16	東西南北		
円に見立て家庭を論ず	岸辺 福雄	18	在彼南、伊藤美寿代女史より／在朝鮮平壤、		
男女両性相異論(オリヴ・シユライネル女史の		20	高橋直巖氏より／鳥林あぐり女史より／SI		
『婦人と労働』紹介の六)			女史より／瀬沼夏葉女史より／藤井夕子女史		
性慾問題	オリヴ・シユライネル、高野重三訳	21	より／正親町ゆみ子女史より		59
自然と小供	露 子	25	新刊紹介		60
ナポレオンの女性観	長瀬 鳳輔	26	海野幸徳『男女の生活』／太住嘯風『新思想		
古い女	中里 介山	29	論』『落栗』／笹川臨風『山中鹿之助』／カリ		
廓清会の芸妓論を聞く	みち 子	30	ン・ミヒアエリス、佐藤緑葉訳『エルジエ・		
女人国記(三)	西川光次郎	32	リントネル』／『人物研究』	58	61
春(小説)	小口みち子	36	寄贈雑誌		
男子問題(談)	奈 良 林	45	募集文芸		
雨の日	座古 愛子	46	短歌	小口みち子選	
一声	記 者	48	月小路爛子／近藤なほ子／下条むら子／春		
趣味の女(*詩)	玉 露 女	49	川雪子／福田ゆきよし／片桐くみ子／串本		
暗い室内より	三野村きよ	51	貞子／松丸稲子／矢萩露子／小川碧水／正		
		52	親町ゆみ子／藤井夕子／藤沢露子／林美禰		

子／月岡美弥子／選者

62
〜
63

(＊選評)

みち子

63

俳句

すみ子選

片桐くみ子／丸山富美／福田つぼみ／吉波

良子／藤浪露子／吉原とみ子／春川ゆき子

／松丸稲子／沢村園子／賀田桐江／福田ゆ

きよし

64

蛙声会

65

年賀名刺交換

66

第一〇号 一九一四(大正三)年二月一日

口絵 フランチェスカ

前付 9

フランチェスカ

1

(＊画)

芋

1

芸者に就て

鳥林あぐり

2
〜
7

人種改善学の創立者

露子

8

結婚と健康診察

高田耕安／羽太鋭次

9
〜
11

滝口入道より尼横笛へ

高安 月郊

12
〜
14

雀(新案イソツプより)

14

カシタンカ

チエホフ、瀬沼夏葉訳

15
〜
17

ナイチンゲールの新しき伝記

内ヶ崎作三郎

18
〜
20

本社の相談部

新真婦人社

20

宗教界に於ける婦人の領分——カザリン、ブー

スの事ども

山室 軍平

21
〜
25

蝶子夫人を見たまふ

丹 いね子

26
〜
28

(＊詩)

紅花

28

女子放言会

吉川たみ子

29
〜
31

書翰(一)

座古 愛子

31
〜
35

婦人論反対説に答ふ(一)(オリブ・シユライ

ネル女史の『婦人と労働』紹介の七)

オリブ・シユライネル、高野重三訳

36
〜
42

婦人問題に対する感想

樋口 緑

43
〜
45

東北窮民の爲めに

新真婦人社

45

今の女に参らする

玉 露 女

46
〜
47

森村翁談片

森村、(＊文責・一記者)

48

結婚に就て思ふ事ども

平沢 福子

49
〜
50

婦人論ハツ当り

八方醜婦

50
〜
54

真実の自覚

渋 柿

55

料理講習会

55

第二回蛙声会の記 女コノ字 56

新刊紹介

三浦関造訳『エミール』／小倉清三郎訳『性的特徴』／宮地猛男訳編『ワシントン一代記』

56 57

新真婦人俳句

すみ子選

福田つぼみ／吉原とみ子／沢村園子／福田ゆきよし／片桐くみ子／下条むら子／吉波良子／林みね子／すみ子

58

新真婦人短歌

小口みち子選

吉浪良子／近藤なほ子／林美禰子／正親町ゆみ子／野の花／片桐くみ子／藤井夕子／福田つぼみ／下条むら子／福田ゆきよし／選者カンデイダ合評 あぐり／文子／みち子

60 58 59 60 70

第一一号 一九一四(大正三)年三月一日

口絵 新真婦人社同人(路傍活動九段坂上)

前付 9

街頭の女

1

自信を得ました

西川 文子

2 3 4

演説会の記 同人の一人 5
路傍活動の記

第一日目(二月三日)

きむ 6 7

第二日目(二月四日)

西川 文 7 9

第三日目(二月五日)

すの字 9

第四日目(二月六日)

平沢 福子 9 11

第五日目(二月七日)

吉川たみ子 11 13

第六日目(二月八日)

文子 13 15

第八日目(二月十日)

樋口 緑 15 16

第九日目(二月十一日)

あぐり 16 17

短歌三首 炬燵／余寒／梅

座古 愛子 17

東北北海道救済金募集決算報告

新真婦人社同人

婦人一心会の働き

遠藤はつ子 18

人種改善の責任者

露子 19

結婚と健康診察(二)

永井潜／吉岡弥生 22 24

簡易哲学

A T 女 25

カタンカ

チエホフ、瀬沼夏葉訳 26 28

婦人論反対説に答ふ(二)(オリブ・シユライ

ネル女史の『婦人と労働』紹介の八)

(*オリブ・シユライネル)、高野重三訳 29 34

婦人運動昨年中の進歩（*雑誌『英国婦人』一

月号より） フォセット夫人 35

女人国記（四） 西川光次郎 36

本社の相談部 新真婦人社 39

妖精の囁き 鳥林あぐり 40

同情ある方々へ御相談 西川 文子 42

其の夜（小説） 三野村きよ 43

婦人論八ツ当り 八方醜婦 47

奥様十姿（上） 玉露 女 49

覚醒した婦人——私の考へてゐる 吉沢波留子 51

アンナカレンナを読む みち子 53

新刊紹介 久保田辰彦『日本女性史』／山田枯柳訳『ク

ルイロフ物語』／小此木武子『新家庭講話』

／高須梅溪『近松の人々』／西川文子『婦人

解放論』 55

新真婦人短歌 小口みち子選 56

正親町ゆみ子／片桐くみ子／みやま／吉波良

子／藤井夕子／小川碧水／選者

新真婦人俳句 すみ子選 57

吉原とみ子／吉波良子／沢村園子／片桐くみ

子 57

投句者諸姉に 58

第三回蛙声会の記 59

愛陶会の珍趣向 60

第二二号（一週年記念号）

一九一四（大正三）年四月一日

口絵 鄙の春 前付 9

賤の詞 さわらび 1

友人的なる夫婦 2

里子問題 高島平三郎／高田慎吾 4

この頃（*詩） むらさめ 7

天才の女の日記（二） 高安 月郊 9

エリーダの夫とカンデイダの夫と 鳥林あぐり 13

五月雨／ある人の身の上を聞きて（*詩） 白 百合 20

故石井十次氏／知人の死 西川光次郎 22

人種改善学的思想の歴史 23

人種改善学協会

東北北海道救済金募集決算報告追加

近藤なほ子／夕子／正親町ゆみ子／選者
次号の予告

婦人に対する注文(談)

大江 卓

第四回蛙声会の記

おあきさんの仕事振り
婦人記者

養育院

玉 露 女

春のお化粧さま／

遠藤はつ子

書翰(二)

座古 愛子

東西南北

浅香桃香様より／広田兵吉様より／近藤なほ子様より／平沢福子様より／高橋里子様より

婦人論反対説に答ふ(三)(オリブ・シユライ

耳義総領事館より

新刊紹介

ネル女史の『婦人と労働』紹介の九)

高野重三訳

東京朝日の批評／高野重三先生より

西川夫人の婦人解放論を読む
有田倭文子

(*オリブ・シユライネル)、

瀨沼 夏葉

耳義総領事館より

新刊紹介

幼年の追憶

す み 子

婦人解放論に対して

本社
の相談部

米国の婦人選挙権運動者より

伊藤あさ子

新刊紹介

東京朝日の批評／高野重三先生より

狸

小口みち子

東京朝日の批評／高野重三先生より

西川夫人の婦人解放論を読む
有田倭文子

ゴムの鼻と千代結びの鬘

西川 文

本社
の相談部

近藤なほ子

恋愛の経験

近藤なほ子

新刊紹介

東京朝日の批評／高野重三先生より

母に別れた時

近藤なほ子

東京朝日の批評／高野重三先生より

西川夫人の婦人解放論を読む
有田倭文子

婦人論ハツ当り

八方 醜婦

本社
の相談部

近藤なほ子

新真婦人俳句

す み 子 選

新刊紹介

東京朝日の批評／高野重三先生より

稲葉茂子／沢村園子／片桐くみ子／猶一／柳

す み 子 選

新刊紹介

東京朝日の批評／高野重三先生より

所／卜碩／夏子／とみ子／つや女／直人

す み 子 選

新刊紹介

東京朝日の批評／高野重三先生より

新真婦人短歌

小口みち子選

新刊紹介

東京朝日の批評／高野重三先生より

新真婦人短歌

小口みち子選

新刊紹介

東京朝日の批評／高野重三先生より

男は女の光、女は男の光
西川 文子 2 5

香について
日向 きむ 6 9

第五回蛙声会
文子 9

小善録
記者 10

衣食住に就て
佐治 実然 11 15

春の歌
座古 愛子 15

家庭趣味
中村 嘉寿 16 17

天才の女 マリイ・バシカアトセフの日記(二)

海外婦人消息
高安 月郊 18 22

海外婦人消息
中尾清太郎 22 24

新真婦人短歌
小口みち子選

藤井夕子／白百合／長田雪枝／正親町ゆみ
小口みち子選 25

選の後
(*小口みち子)

遺伝に注意せよ
石川 省吾 26

カシタンカ
チェホフ、瀬沼夏葉訳 26 30

家探しの記
野の花 31

婦人論反対説に答ふ(四)(オリブ・シユライ

ネル女史の『婦人と労働』紹介の十)

オリブ・シユライネル、高野重三訳 32 40

火神の死
鳥林あぐり 41 42

告白一片
有田 しづ 43

(*短歌)

人種改善の方法
西川光次郎 44 46

三銀の旅行用茶器
四方醜婦 47 51

婦人論ハッ当り
編輯だより
文子 51

『魔の曲』を読む
西川 文 52 57

(*俳句)

片桐くみ子／稲葉茂子／沢村園子／すみ子

潮会咏草(*俳句)

猶一／卜碩／艶女／良子／とみ子

新刊紹介

伊藤野枝訳『婦人解放の悲劇』／角地藤太郎

『化学的食養の調和』／『婦女新聞』

料理講習会の記

本社の相談部

60 59 58

第一四号 一九二四(大正三)年六月一日

口絵 ブリン・マウル女子大学校長トーマス嬢 前付 9

小供と仕事 記者 1

手近かな手本 西川 文子 2〜4

女性主義に就いて 日向 きむ 5〜8

此の頃の自然 柳 子 8

フレツチャ主義(消化不良者への福音) 柳 子 9

家庭問題に就ての感想 新渡戸稲造 10〜12

家庭の立憲的組織 田川大吉郎 13〜14

新真婦人短歌 吉波良子／長田雪枝／下条露子／藤井夕子 15

冷っこい眼 三野村きよ 16〜20

トルストイの恋文(一) 露 子 21〜22

天才の女 マリイ、パンカアトセフの日記(三) 高安 月郊 23〜27

海外婦人消息 中尾清太郎 28〜29

大森アンニー夫人 柳 子 30〜33

米国婦人倶楽部の勢力 チエホフ、瀬沼夏葉訳 34〜38

カシタンカ 新真婦人俳句 すみ子選 33

茂子／猶一／卜碩／つや女／とみ子／かめ子 39

／すみ子 39

本誌拡張に就て／社友の動静 39

婦人参政権論(上) トーマス、(*高野重三訳) 40〜43

婦人論八ツ当り(婦人論に関する有触れたる誤解) 八方醜婦 44〜47

草花利用の広告 有田倭文子 47

故郷より 霜野せき子 48〜49

大阪の女 一、吉弘白眼氏夫人 霜野せき子 50〜52

避妊に関する思想の変遷 西川光次郎 53〜56

父母の誕生日に何を為すべきか／亡き娘の紀念に 56

新刊紹介 田村俊子『恋むすめ』／榎本秋村『偉人の家庭』／布川静淵『統計上より観たる我邦婦人の暗黒面』／興味雑誌『奇』／遠藤はつ子・小口みち子共著『新式婦人化粧』 あぐり 57〜58

婦人解放論の批評に就て 文 子 59〜60

私信数通 60

平沢福子様より／井上すみ子様より／松尾大 60

作様より／安部磯雄先生より／千原よし子様 60

より 60

第六回蛙声会の記 コノ字 61

61

61

61

61

第一五号 一九一四(大正三)年七月一日

口絵 小供の種類

前付11

詩 流れごころ

高安 月郊

1

世界の婦人が今進みつゝある傾向

西川 文子

2~5

英国婦人選挙権運動はどう落着するか(*『イ

ングリツシユウーマン』より)

エドワード・チ・ジョン

5~6

子に対する親の愛

高島平三郎

6~7

棄児の話

市場学而郎

8

イヴの家庭教師(上)

みをつくし

9~12

犬か獅子か

柳 子

13

天才の女 マリイ、バシカアトセフの日記(四)

高安 月郊

14~19

新真婦人俳句

猶一／ト碩／なほ子／良子／とみ子／くみ子

／すみ子

19~20

新真婦人短歌

吉波良子／藤井夕子／近藤なを子／下条露子	座古 愛子	21~24
／小口みち		20
事実小説 愛の力(上)		
高野重三『婦人問題早わかり』(*新刊紹介)		24
婦人参政権論(下)	トーマス、高野重三訳	25~30
魔の花	三野村きよ	31~35
本誌拡張に就て		35
狂女のノートブック	鳥林あぐり	36~39
婦人と職業	井出 茂代	39
(*埋草)		
シドニーウェブ夫人とロビンス女史		39
海外婦人消息	霜野せき子	40~42
避妊に関する誤れる意見	中尾清太郎	43~45
避妊に就て	西川光次郎	46~48
三銀の陶器	中島鎌太郎	49
永遠に若く元気なれ	平沢 福子	49
(*埋草)		
奥様十姿(中)	玉 露 女	51~54
本社の相談部／投書募集		54

婦人論ハツ当り	八方醜婦	55	ベラミーを読む	30
微風	西川 文子	60	シュットネル夫人——世界平和運動、功勞第一	
北海道より	吉川たみ子	63	の婦人	31
蛙声会の感想		64	イブセン夫人	34
三野村きよ／あぐり／タの字／文／コの子／			新真婦人短歌	
中平文字		64	竹内夕子／片桐くみ子／吉波良子／近藤なほ	
		66	子／みち	35
第一六号 一九一四(大正三)年八月一日			イヴの家庭教師(下)	36
口絵 和平の天使シュットネル夫人	前付	9	パーキンス嬢を訪ふ	40
散文詩 森／道路の歌／雲	一 記者	1	死に行く身	41
		2	愛の力(下)	44
日本将来の家庭	西川 文子	3	出版業者の徳義	45
小泉八雲の抱車夫試験問題		6	新真婦人俳句	48
Mさんの夫	日向 きむ	7	くみ子／なほ子／猶一／ト碩／良子／とみ子	48
海にのぞみて(*詩)		8	／茂子／潤子	49
海外婦人文芸消息	中尾清太郎	9	お転婆帳	50
海外婦人運動消息	柳 子	13	奥様十姿(下)	51
羽ばたき	三野村きよ	15	『遊芸画報』(*書籍紹介)	54
		22	故郷に帰りたる時の感	55
高野重三先生著『婦人問題早わかり』(*書籍紹介)		22	『理想の良人』(*書籍紹介)	56
婦人論ハツ当り	八方醜婦	23		56
		30		

編輯余録

小口みち子様より／有田倭文様より／川路歌

子様より／浅香様より／文

本社の相談部／投書募集／代理部の開始

第一九号 一九二四(大正三)年二月一日

(*画)

口絵 秋のころ

牛と犬(*写真)

職業婦人増加の傾向

職業婦人が増加せば社会にドンナ変化が起るで

あらうか

泡沫のあと(*詩)

日本婦人史蹟

短歌

俳句

子／すみ子

銀の盃

女性中心論(二)

レスター・ワード述、高野重三意識

秋風十句

秋風案

『抱月夫人に与ふる書』について

我が国の婦人運動に就いて

鹿児島の子

海外婦人消息

『宗教叢書』(*書籍紹介)

動揺の心もて／戦争(*詩)

筆のしづく

露営の露(*詩)

婦人論八ツ当り

女子の天性

予告／米国大統領と姓名判断

蛙声会の記

代理部新設の御披露

抱月夫人に与ふる書

婦人美容法研究会趣意書

編輯余録

夕子様より／平沢福子様より／井上すみ子様

稲葉 茂子

浜 萩

文 子

坂本 正雄

久留 天豪

中尾清太郎

みをつくし

玉 露 女

八方醜婦

中 村

コノ 字

小口 みち

小口 文子

小口 みち

西川 文子

小口 みち

山田 きよ

10 14

9

60 61

62

S 表紙

1

2 5

5 7

7

8

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

より／伊藤朝子様より／山田きよ子様より／

K子様より／並木さき子様より 56～57

新刊紹介

辰巳正直『若き雄作の悲しみ』／中島孤島訳

『生の悦び』／秋元浩二『婦人性学』／『少年倶楽部』

57～58

本社の相談部／投書募集

58

第二〇号 一九一四（大正三）年二月一日

（*画）

口絵 いのりのこゝろ 夜 美 草 S 表紙 前付9

シヤクンタラ姫（*画） 佐藤 朝山 1

慧春の火定 高安 月郊 1～4

内藤千代子『生ひ立ちの記』（*書籍紹介） 4

婦人論八ツ当り——茅原華山氏の婦人論を評す 八方 醜婦 5～12

新刊紹介

久津見藤村『自由思想』／中村六蔵『至動自

覚法』／檜山鉄心『心身修養療法』／藤元慈

祐『我が芸術』／『少年倶楽部』

八百屋お七 島田 筑波 13～18

短歌 近藤なを子／吉原／くみ子／みち 19

俳句 くみ子／潤子／園子／茂子／猶一／直人 19～20

／とみ子

独逸の産業発達と職業婦人

ゼー・エフ・ミルス 20～22

公益的婦人団

マリイ・アイ・ウツド、（*譯標訳） 山田 きよ 22～24

日蔭もの（小説） 25～30

（*書籍紹介） 婦人の職業問題 佐治 実然 31～33

秋の夜、ひとり歌へる 坂本 正雄 33

関（小説） 早 藤 34～37

男女の純潔を理想とする会の必要 西川光次郎 38～39

池の主（井の頭池の伝説） 中尾清太郎 40～41

日本婦人の将来 新渡戸稻造 41～42

道徳上男女の平等 浮田 和民 42

ゾラ著中島孤島訳『生の悦び』を読む 西川 文 43～45

手紙 玉露女 46〜49

編者申す 小口 49

婦人の美容法研究に就いて 小口 50〜51

海老名みや子夫人に示す文 流 蘇 女 51〜52

『親様』／『エーテル観』／『天主の再臨』（*書

籍紹介） 52

記者の手帳 53〜54

編輯余録

堺利彦様より／広田兵吉様より／○氏より／

山田様より／井上すみ子様より／平沢福子様

より／藤生貞子様より／島田一郎様より／伊

藤朝子様より／松尾大作様より／高安月郊先

生より／編輯者より 54〜56

新年号について／本社との相談部／投書募集

新真婦人社代理部特売品 58

第二一号 一九一五（大正四）年一月一日

（*画） （*藤森静雄） 表紙

口絵 いのりのこゝろ 夜 美 草 前付 9

初雪（*画） 1

年頃の娘を持てる父母に与へて婦人の職業問題

を論ずる書 西川 文子 1〜4

小野小町 さわらび 5

女子の潜在能力と婦徳 薄井 秀一 6〜12

落葉焚く日——T夫人へ 山田 きよ 13〜16

倫敦通信 K 17

科学的婦人論 高野 重三 18〜28

了然尼 島田 筑波 29〜33

宿の娘 中里 介山 33〜34

春から夏へ（古きノートより）（*詩）

みをつくし 35

冬ごもり(1) 吉川たみ子 36〜37

白髪と皺を無くする法 記者 37

落葉集 平沢 福 37〜38

マーキノ・ヨシオ君の婦人同盟訪問記

WSPUへ初めての訪問 中尾清太郎 39

マーキノ・ヨシオ、（*中尾清太郎訳） 39〜45

女傑の片影 西川光次郎 45〜47

年とともにあらためる事 日向 きむ 48

愛 ヴェクトル・ユーゴー、(*山口孤剣訳) 49

産褥にて 文 51

新真婦人短歌 近藤なを子／くみ子／選者 52

新真婦人俳句 潤子／園子／くみ子／すみ子／晶山／猶一／とみ子 52

顔のあれない手当 小口 みち 53

須磨子女史のために 高木 意勢 54

読者より記者へ a子／広田兵吉 55

新年を迎へて 文子 56

新刊紹介 西川光次郎『偉人の恋物語』／鴨田修治『産児制限論』／金谷幸太郎『性慾教育』／マーデン、大宮英之助訳『心身修養之礎』／森田草平訳『カラマゾフ兄弟』／岡本黙骨『俳聖芭蕉』／小宮山豊隆『銀座の夜』／西川光次郎『救世軍』／宮崎八百吉『世界大審判の予言』 57

第二二号 一九一五(大正四)年二月一日

口絵 二月 夜美草 前付 9

若き春の思ひ出(*画) 小生夢坊 1

家庭に就いて最近の感想 日向 きむ 2

婦人問題に対する吾人の態度 大塚小一郎 8

附記 高野 重三 14

閑談会 西川 文子 15

哀愁と祈禱(*詩) 坂本 正雄 16

人形の瞳 山田 きよ 17

次号予告 島田 筑波 27

名妓のぶ 玉露 31

新年蛙声会の記 32

露国より カ、チハチエフ 32

思出のフォセツト夫人 中尾清太郎 34

夫人フォセツト マーキノ・ヨシオ 35

若かき職業婦人と其父母へ 西川光次郎 39

科学的婦人論(二) 高野 重三 41

本社相談部／投書募集 59

新真婦人社代理部特売品 60

砂糖は安産薬（*『家庭の医学』より）

鎌倉より

玉露女 47〜50

第二三号 一九二五（大正四）年三月一日

慧春の火定石

筑波 50

新真婦人短歌

口絵 瞳 夜美草 前付7

近藤なを子／山田房枝／三良院恒子

50

本誌の抱負

西川 文子 2〜5

赤ん坊趣味(一)

西川 文子 51〜53

結婚前の婦人へ

西川 文子 2〜5

日本の婦人と西洋の婦人

小口 みち 53〜55

欧米婦人の見識と抱負

高野 重三 6〜9

妊娠中の心得

高橋 ゆき 56〜58

戦乱裡の婦人(写真)

10

安井哲子女史に寄す書

流蘇女 59〜60

現代女詩人の叫

高安 月郊 11〜13

見たり聞いたり

文子 60〜61

赤ん坊研究(談)

高島平三郎 13〜15

新刊紹介

人魚の夢

山田 きよ 16〜19

石田伝吉『理想の家庭』／中尾清太郎『今日の広告学』／森田草平訳『カラマゾフ兄弟』

二週年紀念号について

日向 きむ 20〜22

／江戸鴨村『統高僧と母』／修養協会編『生死の研究』／中村星湖訳『独身婦人』／西宮藤朝『死の勝利』／『革命家の見たる迷宮記』

蓮の精

中尾清太郎 23〜24

／江部鴨村『統高僧と母』／修養協会編『生死の研究』／中村星湖訳『独身婦人』／西宮藤朝『死の勝利』／『革命家の見たる迷宮記』

新真婦人俳句

潤子／くみ子／すみ子

24

潮会々報 とみ子報（*俳句）

潮会々報 とみ子報（*俳句）

24

蛙声会の記

蛙声会の記

達子

25

三銀の旅行用茶器

61〜63

閑談会

達子

25

本社の相談部／投書募集

63

少年徳育上の参考

西川光次郎

26〜28

新真婦人社代理部特売品

64

お里さんの死

但村はつ女

28〜33

樋口博士夫人の死に就て	流 蘇 女	34	35
あとを掃除して置いて下さい／戦乱裡の独逸婦			
人／世界一の電話国		34	35
冬ごもり(二)	吉川たみ子	35	37
新真婦人短歌 片桐くみ子／島の人／近藤なほ			
子／栗原豊三郎／なし草			
より大なる声(気分劇)			
より大なる声(気分劇)			
『新渡戸博士の修養』(＊書籍紹介)			
駒込ことば	平木 白星	43	45
台所の革命蒸気炊事器			
乳ののませ方	吉岡 弥生	47	49
写真	文 子	49	
生死について	尾崎 恒子	50	51
吾が足跡	紅 花	52	55
風味会	文 子	55	
中村高等女学校を訪ふ	文 子	56	
女と調和	白 露	56	57
本社の相談部			
職業夫人とお化粧			

第二四号(二週年紀念、婦人職業号)

一九一五(大正四)年四月一日

口絵 あこがれ	夜 美 草	前付	13
本誌の抱負			
婦人の職業問題に就て思ふ数々	西川 文子	2	4
職業と結婚と	八 重 子	4	8
職業としての美容術	小口 みち	9	11
女医になりたい人のために	吉岡 弥生	11	14
看護婦会の起源と歴史	鈴木まさ子	15	17
速成裁縫教授	戸板せき子	17	18
東京電灯の女事務員	武 田		19
電話交換手の話	喜多 孝治	20	22
講話に就て	西川 文子		22
白木屋の女店員	高野 復一	23	24
三越の女店員			
ミシンの稽古をするには	矢野 元子	26	27
婦人の職業に就いて	伊藤 あさ	27	28
墓地の辺より	平沢 福子		28

明治以後婦人職業史の一節 西川光次郎 29〜31

(＊写真) 戦乱裡の婦人(二)／戦乱裡の人情美 32〜33

現代女詩人の叫 高安 月郊 34〜36

破鏡婦人の福音 大久保端造 36〜38

瀬戸内海春の印象 立石 蔦枝 39

『くれなゐ』／伊藤朝子様より／コ、アミルク 39

叫ばれぬ悲鳴 日向 きむ 40〜43

瀬沼夏葉女史を悼む 文子 44

私の思想と解釈との断片 中尾清太郎 45〜49

都のFさんへ 豊田 暁潮 49〜51

新真婦人短歌 海の人／下条露子／近藤なほ子 52

ひな十句／創刊二週年を祝ひて 稲葉 茂子 52

ラヂウム療法の話 渡辺 鼎 53

遊女の小供 堀江 東花 54〜55

姑と嫁 玉露 女 55〜57

生花について 尾崎 恒子 58〜60

御守殿門——大学赤門の由来 島田 筑波 60〜62

春の白木屋 62

金子薫園『女子新書翰』(＊書籍紹介) 63

(＊詩) 春來たる(一記者)／冬から春へ(みを

つくし) 64

新真婦人より何を学びしか

六個の教訓 S 子 65

妹に読ませました 弓家 七郎 65〜66

自覚させて頂きました 芝某 女 66〜67

修養の為め 関 けさ子 67

結婚と健康診断 けい子 68

実は男子問題なることを 一青年 68

之れがドレ丈け娘の為めに 高木 とせ 68

遠慮なく異性と交際して 近藤なほ子 68〜69

反感を以て読みつゝ N 女 69

恐れ気のない雑誌 百合子 69

三月の蛙声会 伊藤 あさ 69〜70

編輯余録 小口みち子様より／山田様より／たぬき様より

り／吉川たみ子様より 70〜71

新刊紹介

岡田哲蔵『我が断片』／森田草平編『フアウ

スト』／相馬泰三編『源氏物語』／廓清会編

『娼妓自由廃業案内』 71

女店員のお化粧苦心談

(72)

第二五号 一九一五(大正四)年五月一日

口絵 千九百〇九年四月十七日ローレンス夫人

出獄歓迎の光景

前付 9

婦人問題大演説会(*予告)

1

婦人と衛生

西川 文子

2 ~ 4

振袖火事の医学的解釈

鴨田 修治

4 ~ 5

人情ぢやありませんか

鳩山 春子

5 ~ 7

新真婦人短歌

島の人 / 近藤なほ子

7 ~ 8

俳句

島の人 / くみ子 / 潤子 / 鹿鳴子

8

科学上より見たる婦人論(三)

高野 重三

9 ~ 14

男の考へた女の問題

中尾清太郎

15 ~ 18

十二才から二十一才迄の女

みをつくし

19 ~ 21

ローレンス夫人の来朝

大月 高陽

21

工女の轍死

西川光次郎

22 ~ 26

ローレンス夫人の来遊

西川光次郎

26 ~ 28

汚辱の子の処分(再び)

西川光次郎

28

白耳義の婦人 / 露西亞の出版界

29

斯くありたき家長の心掛

29

婦人職業劇場案内女の内容

立石 蔦枝

30 ~ 32

ペリクレスの妻アスペンヤ

久留 天豪

32 ~ 35

和合の説明

さわらび

35

賤機

長田 雪枝

36 ~ 45

サアニンを讀みて

蛙声会の記

46 ~ 47

奥さんとお神さんの処世法——家庭のクリマワ

島田 筑波

47

春の感象——目黒なる杜の陰にて(*詩)

豊田 暁潮

48 ~ 51

自然より人生へ

坂本 正雄

51

人の家見て

一 記者

52 ~ 53

春の一日

玉 露 女

54 ~ 59

妊娠中の衛生に就て

多川 澄子

60 ~ 62

生花について(三)

尾崎 恒子

62 ~ 63

編輯余録

佐治突然様より / T様より

64

新刊紹介

夏目漱石『硝子戸の中』 / 渡辺白鷹『林檎の

64

落つる音』／鴨田恒子『現代女子の職業と其

活要』／鴨田脩治『惡癖矯正法』

田舎より田舎へ

第二六号 一九一五(大正四)年六月一日

口絵 婦人問題大演説会の光景

本誌の抱負

くるく記

貞潔に就て

私の要求する女

(＊俳句)

『女子が参政権を得なば』(梗概)

(＊James Barr原作、平木白星抄訳)

タゴールの女性

妹への遺書

晩年のナイチンゲール女史

婦人界小評論(一)(二)

喜捨

手紙の裏

偶感(＊短歌)

少年団

工女の轍死(二)

動物愛護会例会

新真婦人俳句 島の人／潤子／くみ子／鹿鳴子

／無名氏

新真婦人短歌 くみ子／近藤なほ子／島の人／

無名氏

十二歳から廿一歳迄の女(続)

生花について(四)

原口鶴子『楽しき思出を読む』(＊書籍紹介)

公開の席上に醜業婦を侍せしむる勿れ(＊『婦

人新報』より)

演説会スケッチ

婦人問題演説会の印象

演説会から得た感想

新刊紹介

尾上柴舟『短歌新講』／秋山四郎『車上の学

問』／野村隈畔『春秋の哲人』／大日本雄弁

会編『講演資料逸話集』／青柳有美『美と女

蘇 泉 子

大月 高陽

動物愛護会例会

新真婦人俳句

新真婦人短歌

無名氏

十二歳から廿一歳迄の女

生花について

原口鶴子

公開の席上

演説会スケッチ

婦人問題演説会

演説会から得た感想

新刊紹介

尾上柴舟

問

会編

手紙の裏

喜捨

婦人界小評論

33

34

39

39

40

41

46

46

48

48

48

49

51

51

52

26

30

30

33

33

と』／松本青峰『毒薬を読む』

53
〜
54

児童教養相談所に就て

三田谷 啓

26
〜
27

児童教養相談所

短歌

与謝野晶子撰

表紙画募集／和歌、俳句、募集

吉田寿子／島の人／片桐くみ子／河村明子／

本社の相談部

桃割れ女／むらさき

28

『女子が参政権を得なば』（梗概）

第二七号〈離婚の研究号〉

James Barr原作、白星抄訳

一九一五（大正四）年七月一日

表紙図案懸賞募集

29
〜
34

一年位で死んでもいい

長田 雪枝

35
〜
36

口絵 処女

夜 美 草 前付 9

日光

近藤なほ子

36

口絵 西洋風俗百年間の変遷

前付 17

親友を亡へる友に

文 子

37

本紙の抱負

1

日記から

桃割れ女

37
〜
38

再び結婚前の婦人と其父母に

西川 文子

六月号を読みて

中里 介山

38

女の神様

6

西川女史の『貞潔に就て』を読む

小木曾捨男

39

離婚の研究——離婚を少なくするには

断片語

大月 高陽

40
〜
42

高島平三郎

十二歳から廿一歳迄の女（統）

みをつくし

42
〜
47

離婚に関する思想の変遷

西川光次郎

婚約

有 髪 尼

48
〜
50

離婚に関する輓近劇界の思潮

寛

お断

池田勤之助

51
〜
53

離縁から起つた隠れたる悲劇

立石 畝月

内気な令嬢の気質矯正

西川光次郎

54

史劇『月影』に就て

藤生 貞子

健康問答

文 子

55
〜
58

タゴールの『献歌』

なかを・せいたらう

24
〜
25

手紙の返事

文 子

中元売出しの白木屋

新発明品紹介

田沢除蠅粉／ボルド／万国時差早見表／旅行

用美顔術箱（遠藤はつ子談）／新製クロニツク

和歌、俳句、小説、感想文募集

新刊紹介

麻生正蔵『家庭教育の原理と実際』／与謝野

晶子『雑記帳』／シエンキユキツチ、松本雲

舟記『何処へ行く』

本社の相談部

第二八号 一九一五（大正四）年八月一日

（*画・平和の家庭に咲く四季の花）

（*菊地八峰）

口絵 ゴダイバア夫人の勇氣

本誌の抱負

奇形な家庭の夫婦関係（一）

老衰との奮闘

マツサーロワ女史に就て

家出人の研究

（再び）思出のフォセツト夫人

君略年譜

（*詩）汀にて／雲

旧約書中の婦人訓

私共の家庭

或夜の心（*詩）

内藤千代子氏の惜春譜を読む

婦人と実験心理学

女子が参政権を得なば（梗概）（下）

新真婦人俳句

すみ子

新真婦人短歌

立見登美子／卯月夏子／木暮さゆめ／河村明

子／坂本正雄／片桐くみ子／近藤なほ子／北

尾春道

世界各国いろ／＼な女の話

原 胤昭 11
13

附フォセツト

中尾清太郎 14
17

郁 子 17

内ヶ崎作三郎 18

池田 蕉園 19
22

鈴木 郁子 23

文 子 24

原口 鶴子 25
27

James Barr原作、平木白星抄訳 27
32

すみ子選

直子／鹿鳴子／くみ子／茂子／潤子／晶山／
すみ子 33

与謝野晶子選

前付 9

表紙

西川 文子 2
6

マツサーロワ 7
9

高野 孤竜 9
11

アレック・トウエデイ 35
36

自然主義の教育(十二歳になるまでに六ヶ国の

語を覚えさせた教育法)

西川光次郎

37

婦人の積極的修養

西川 文子

1

十二歳から二十一歳迄の女(続)

みをつくし

40

悲しき日

なほ子

6

消息 唐沢純正様より/灯籟社より

立石 畝月

45

戦乱と女子の覚悟

松浦 政泰

7

駅路に残されたる女

諏訪の山姥

49

婦人就職範囲の拡大について

文責・記者

8

返書

平沢 福子

51

日本婦人の顔の研究

塩沢昌貞、

11

夏のある日

なほ子

54

結婚まで性交厳禁の人種

西村 卜堂

14

もだえ

浅川 禿山

55

(*埋草)

西川光次郎

17

皮膚を美しくするには

浅川 禿山

56

戦争と私生児

18

発明品紹介

56

『天理教祖観』を読む

18

表紙画について

56

頸珠

モーパッサン、
笈甲太郎訳

19

新刊紹介

56

婦人と劇

中村 春雨

34

安芸愛山『第二通俗教育道話』/鉄道院編

57

俳句

蔦 枝

35

『鉄道旅行案内』/矢野文雄『斎武名士経国

57

避暑地より

玉 露 女

36

美談』

57

乾燥せる生活

谷 紀三郎

39

本社の相談部

57

富士詣

晶 山

41

第二九号 一九一五(大正四)年九月一日

57

和歌

与謝野晶子撰

42

近藤なほ子/河村明子/樺島操子

42

オフィス窓から

中尾清太郎

43

平和の家庭に咲く四季の花(*画) 菊地 八峰

表紙

表紙

表紙

表紙

表紙

西村ト堂氏著『精神能率増進法』、『健康能率増

進法』(*書籍紹介)

天才と社会 佐々 醒雪 21
紫式部と其時代 与謝野晶子 24
女詩人へマンズ夫人の事共 中尾清太郎 26
踊の天才 水木 歌若 29
女優といふ天才(木版) ユメボ 30
御大典と白木屋 31
天才の女絵師——三熊露香女史(木版) 小生ゆめぼ 32
黒住宗忠御歌文集第一巻より 33
私の母に就いて(談) 野口 小蕙 34
御大典に因める流行の装身具 37
露国文壇に現はれたる女性観の変化 38

秋と沈黙

白 兎 女 47
みをつくし 49
有田 倭文 53

東大寺多代 54

十二歳から廿一歳迄の女(続)

日記から

南総より

南総より

私信数通

玉露様より／深谷様より／吉川たみ子様より

私信数通

編輯余録

岩野清子氏へ

来月号予告

第三〇号〈天才婦人号〉

一九二五(大正四)年一〇月一日

平和の家庭に咲く四季の花(*画)

口絵 天才婦人

婦人の積極的修養(二)

天才婦人の研究

天才婦人の研究

記者 6
6
10

西川 文子

前付 13

西川 文子

山口 孤劍

茂子

西川 文子

安芸愛山『家庭百話』(*書籍紹介)

玩具研究

秋十句

心理解剖療法

南窓より

光を慕ふて

九月号を読み

多代

九月号を読み

安芸愛山『家庭百話』(*書籍紹介)

玩具研究

九月号を読み

安芸愛山『家庭百話』(*書籍紹介)

玩具研究

九月号を読み

安芸愛山『家庭百話』(*書籍紹介)

玩具研究

九月号を読み

安芸愛山『家庭百話』(*書籍紹介)

玩具研究

九月号を読み

秋十句

玩具研究

解けぬ心 近藤なほ子 51
幼稚な謎 白 兎 女 52 56

強情張り 河村 明子 57 58

書窓の花 延 命 菊 59 61

発展せる堀越商店 61

青柳有美『恋愛の話』(*書籍紹介) 61

独身生活に就て質問 長田 雪枝 62 64

雪枝さんへ御返事 西川 文子 64 66

消息

有漏旅路(宮武外骨) / 大石栄子様より / 私

が始めて(筑紫の原に住む愛読者の一人) /

坂田せい子様より 67 68

次号予告と懸賞募集 68

第三一号(御大典記念結婚号)

一九一五(大正四)年十一月一日

(*画・平和の家庭に咲く四季の花)

(*菊地八峰) 表紙

口絵 かへり路(池田蕉園) / お鶴(栗原玉)

葉) / 花がたみ(上村松園) / 稽古のひま 前付 13
(島成園) / 霜月十五日(河崎蘭香)

米国に於ける婦人選挙権獲得の進歩 1

人間精神の最も美しき時 西川 文子 2 6

結婚と人性学 西村 卜堂 7 9

名士の夫人観

高島米峰 / 青柳有美 / 笹川臨風 / 佐治実然 /

平木白星 / 村田平三郎 / 山路愛山 / 安部磯雄

/ 上司小剣 / 山室軍平 / 田川大吉郎 / 宮田修

/ 竹内師水 / 茅原華山 / 中尾清太郎 10 14

新真婦人天才号拝読仕り 佐治 実然 14

名流婦人の良人観

三つのお尋ねを受けて 玉野 露子 15 18

私の良人 吉岡 弥生 18

晩婚した私の経験 富士 尾 19 20

嵐のあと 俊 子 20 21

他人の忠告位皮相なものはない 里 子 21

娘の夫としては 石川 貞吉 22

微温 小木曾捨男 23 25

父?母? 東大寺多代 26 28

嫁ぐ前 小木曾幸子 29〜32

結婚期（*画） ゆめ坊 30

文子先生御前に 丑女 32

結婚種々相 紅花 33〜35

結婚の悲しみ（*画） ゆめ坊 34

結婚風聞録 明星 36〜37

結婚前の準備 久留 天豪 37

人は最も己れを信ずるものを愛す 西川光次郎 38〜40

接吻の歴史 記者 40

第九回文展入選の閨秀作家

渡辺文子／栗原玉葉／有馬さとえ子に代りて

（岡田八千代）／河崎蘭香 41〜43

趣味と生活（巴里通信） 高野 孤竜 44〜45

福沢諭吉の婦人観（上） 大月 高陽 46〜48

ある基督信者に諭ゆ 小生 ゆめぼ 49

アアル・バアンス氏の職業婦人観

からさは・じゆんせい 50〜54

玩具研究（下） 山口 孤剣 55〜58

編輯だより／病床にて（郁子） 59〜60

出版界

坪内博士の近業／内ヶ崎愛天『人生日訓』／

鴨田修治『治病衛生大博士』『産児制限論』／

『少年倶楽部』十一月号 60

御来社の方々へ（文子）／本社の相談部 後付4

第三二号 一九一五（大正四）年二月一日

平和の家庭に咲く四季の花（*画） 菊地 八峰 表紙

口絵 避妊思想の普及者アンニー・ベサント夫

人 前付9

更に一步を進めよ 1

一般婦人論を直ちに個人的家庭問題に応用する

ことが出来ません 西川 文子 2〜8

秋の夜の瞑想となやみ（*詩） 神沢 理一 8

婦人と海外発展 永田 稠 9〜10

千人の家族を拵へたい 島貫しか子 10〜12

婦人を伴はざる移民は成功せず 朝日 胤一 13〜15

米国婦人記者に招待されて 文子 15

私 からさはじゆんせい 16

旧き歌反古より 溪 一路 17

日本神代の女性

川面 凡児 18〜20

御来社の方々へ(文子) / 本社の相談部

56

精神病物語

多田 碩男 21〜23

袋雑誌の好評

第三号 一九一六(大正五)年一月一日

ヘマンズ夫人の訳詩 養童

(*ヘマンズ)、中尾清太郎訳 24〜26

平和の家庭に咲く四季の花(*画) 菊地 八峰 表紙

火と水とのお自慢

26

アンニー・ベサント夫人

記者 27〜28

忘れられない少女(*文と画) 女 前付9

鹿野山紀行

東大寺多代 29〜31

家庭改良の要点 西川 文子 2〜5

徒然草に見えたる恋愛観

石沢久五郎 32〜36

家庭の組織的研究 湯原 元一 6〜7

本能の教ゆる健康法

西川光次郎 36〜40

日本婦人の個性なき所以 高島平三郎 8〜9

英国婦人名登記と婦人学士

からさは・じゅんせい 40〜43

新刊紹介 小林富次郎遺文、中尾清太郎編『聖書日々実

父の死 近藤なを子 44

行』/ 笹岡清泉『美人禅』/ 日向きむ『銀と

福沢諭吉の婦人観(下)

大月 高陽 45〜51

藍』/ 磐翠楼主人『女の赤裸々』

鹿野山

文子 51

はるのうた 唐沢 純正 10

女性愛護の進化

高野 孤竜 52〜54

陶宮によりて婦人の性癖矯正されたる為め家庭

婦人の婦人研究

ミ トリ 54

円満となりし実話 竹内 師水 11〜15

個人消息

中尾清太郎氏 / (*座古愛子氏より) / 多川 様より 55

小供の育て方 西村 卜堂 16〜19

短歌

小川 秀岳 19

謹賀新年 西川光次郎／西川文子 19

名笛望月 清水 玉露 20 〳 21

容貌よりは精神 江木 欣々 22 〳 23

家庭改良といふことについて 隱明寺しのぶ 24 〳 26

筒袖と公の招待状 加藤さき子 27 〳 28

衣服の改良を思ひたつた動機 入沢 常子 29 〳 32

黒き瞳（*詩） 上野さくら子 32

家庭より病魔と陰鬱とを駆逐する最簡便法

西川光次郎 33 〳 35

食養の話 西端 学 35 〳 37

健康の爲めに日光を利用せよ 渡辺 鼎 38 〳 39

自然療法講義（一） 葛岡 宗吉 40 〳 42

家庭の純潔 久留 天豪 43

自覚と誠 明星 43

電気応用の進歩 44

恋聲女と人生と 小生 夢坊 45 〳 47

三十女の日記 東大寺多代 48 〳 50

大正新時代の竜宮 中南定太郎 51

昨今 天川 陽子 52 〳 55

編輯の後 文子 56

唐沢様より／明子様より／ミドリ様より／久

留天豪様より／栃木様より 56 〳 57

御来社の方々へ（文子）／本社 of 相談部 58

第三四号 一九一六（大正五）年二月一日

（*画・平和の家庭に咲く四季の花） 表紙

（*菊地八峰） 前付 9

口絵 亜米利加天然療院の全景 西川 文子 1 〳 8

女の幸福とは？ 日光療法に就いて 一 記者 9

愛隣園を訪ふ記 拗ね者の歌 唐沢 純正 10

けし粒程の火 沼田 笠峰 11 〳 13

欧米の婦人を論じて婦人の使命に及ぶ 西本朝春、文責・溪

婦人の行く可き道——平木白星氏の死を悼む 小木曾捨男 14 〳 20

日永のたわ言 ルツ 20 〳 22

感想録 △ □ 23

労働を尊ぶ米国婦人——日本中流夫人の一読を

望む(『六合雑誌』新年号より) 高橋 清吾 24

婦人と職業教育 樋口 緑子 25

三十女の日記 東大寺多代 26

健康顧問演説会(*予告) 29

天然治療院 記者 30

自然療法講義(二) 葛岡 宗吉 31

先づ其人に同情せよ(談) 村田平三郎 33

食物のロマンス 西川光次郎 34

盆栽、小鳥、人間 佐治 実然 44

山羊の絶食療法 中尾清太郎 46

食養の話(二) 西端 学 47

帽子を冠ぶるな、シャツを着るな 高木 兼寛 49

新刊紹介 50

正史上のロマンスを読む 文子 51

ウオード、堺利彦訳『女性中心説』／小倉暁

風『心の改良病の根治御道の宝』／武田仰天

子『明智光秀』 文子 52

平木白星先生を悼む 文子 53

懸賞募集 新真婦人社 53

御来社の方々へ(文子)／本社の相談部 54

第三五号 一九一六(大正五)年三月一日

平和の家庭に咲く四季の花(*画) 菊地 八峰 表紙

口絵 朝 藤森 静雄 (1)

家庭と健康 西川 文子 2

病める友に与ふる書 千 駄 木 5

懸賞募集 新真婦人社 7

雛祭の頃(*詩) 唐沢 純正 8

児童に健康上善き習慣をつけるには

フランク・エム・マクムリー 9

家族の健康と主婦の責任 石川 貞吉 10

衣服に囚はれて居る日本婦人 中島鎌太郎 11

記者申す (*記者) 11

日本婦人の欠点 志村 誠麿 12

日本婦人に虚弱者多き所以 斎藤 紀一 13

難病治療の霊能者 福来 友吉 15

自然療法講義(三) 葛岡 宗吉 17

オキシヘーラーの効能 前島震太郎 19

19

百日咳の手当 吉岡 弥生 20〜21

『家庭衛生治療と調剤』（*書籍紹介） 高田 耕安 21

述懐／吾友へ（*短歌） 西端 半月 22〜26

人間と土地と食物との関係 西川光次郎 26〜28

土の福音 健康顧問演説会（*予告） 29

家庭健康顧問会趣意書 中尾 フサ 31〜33

処女の地 山本 勇夫 33〜38

創作 お温習会 変つた型の葬式／托児所 38

女子は家畜なりや 竹森 一則 39〜41

三十女の日記 東大寺多代 41〜45

ちかひし言の葉 黒 百合 46〜48

或る女の死 大月 高陽 48〜51

編輯の後 記者 51

活卵の価値 記者 52

御来社の方々へ（*文子）／本社の相談部 53

第三六号（第三週年紀念号）

一九一六（大正五）年四月一日

平和の家庭に咲く四季の花（*画） 菊地 八峰 表紙

口絵 子によりて甦れるもの 藤森 静雄 前付 13

題言 罪なくして夫に離縁されんとする場合婦 人の執るべき態度に就て（但し既に数人の子 供ある場合） 1

子女は貰ひ受け、教育費、養育費を要求せよ 西川 文子 2〜5

最早や夫の名誉などは 黒 百合 6〜7

さうした心持に生きよ 但村はつ子 7〜9

子供は婦人の手より離すな 新渡戸稲造 10〜11

生活費と子供の教育費を要求せよ 佐治 実然 11〜12

子供の利益が本位 山田 わか 12〜14

健康問題演説会 中尾清太郎 15〜16

独立の下地 岩野 清 16

非結婚同盟 16

因縁因果	中里 介山	17	雪	太 代 子	41
私は斯う思ふ	沖野岩三郎	18	土の福音を讀みて	黒 百 合	46
最初を慎しむべし	斎藤 紀一	20	家庭健康顧問会趣意書		47
聖人の教	奈良林浅次郎	21	家族に共通の長所と短所——健康顧問会へ入会		47
法律に訴へて	安部 磯雄	22	をすゝむる文	西川光次郎	48
精神上の自由	岡田 哲蔵	22	伊吹氣の説	川面凡児	49
三四年は	青柳 有美	23	自然療法講義(四)	葛岡 宗吉	50
女の柔かい力によりて	吉田絃二郎	23	音信		
純粹愛情で取扱ひたい	鈴木 竜司	24	吉川たみ子様より／長田様より／好子様より		
狂せず乱せざるの修養	大沢 とよ	24	／留都女様より／片山広斗様より／大森美子		
手近い手本	神近 市子	24	様より／石沢久五郎様より／中島誠子様より		
大体の心構へ	林 静太	25	／田中様より／下川ふぢ子様より／近藤なほ		
当分別居位が第一手段	福島 貞子	25	子様より／山盛美喜子様より／碧川かた子様		
民法には		25	より／小針久子様より／田川大吉郎様より／		
問題は子供です(二等当選)	久米 通子	26	与謝野晶子様より		52
石汁の例へを思へ(三等当選)	呆 木 生	29	春の白木屋		53
書きこゝろ		32	本誌定価の改正／本社相談部		55
花咲けば	唐沢 純正	33			
セルギヤの女性	中尾清太郎	34			
創作 亡き稲子へ	山本 勇夫	36			
		41			

第五三〇号〈戦争と婦人号〉

一九一七(大正六)年九月一日

(＊画)

口絵 祈を終へしエリザベツト 池田 蕉園 表紙
 早川桂太郎 前付9

巻頭語 婦人界の更新

戦争が如何に婦人に影響しつゝありや

エチ・ジイ・ウエルス 2 3 4

日本婦人戦後の覚悟 戦争の影響 山脇 玄 4 5 8

戦争と婦人

草の花(＊詩)

橘 三郎 12
 山田 わか 13 3 18

就学児童の体格検査 高田耕安訳詠 18

詩第二十三編 市場 鴨村 19 3 22

墮落して行く女 西川 文子 22 3 24

女の弱さ

(＊新真婦人社代理部特売品)

夏子 新真婦人社代理部 24

封筒の整理 小村 夏子 25 3 28
 江原 素六 28

王女の死(口絵の説明)

静岡より 早川桂太郎 29 3 31

(＊書籍紹介)

白松鶏庵『万家福楽五羽養鶏』／高島米峰

『熱罵冷評』／植原悦二郎『犬養毅とロイド・

ジョージ』 32 3 33

自分で注意することの出来る様になつてからの

健康法 高野太吉談 33 3 35

勝腹術 竹内 千代 36 3 37

醍醐味と醍醐素 記者 38 3 39

日本キモノと米国婦人(樫田学士の帰朝土産)

ポプラの葉影 村木 きよ 40 3 44

良縁(四) 山本 勇夫 45 3 49

本社の相談部——職業教育が受けたい方は 50

第六〇号〈六週年記念号〉

一九一八(大正七)年四月一日

君は今駒形あたりほととぎす(＊口絵) 耕 春 前付1

六週年記念号 時局重大 1

(*画) H. KEITARO 1

女学校から社会へ出んとする婦人と其父母に

西川 文子 2~6

おたい明神

女学校卒業生への訓言

性の教育を受けよ 市川 源三 7

家庭は人物を造る土台

山脇 玄 7~8

偉大なる人を造れ

泉 道雄 8

家庭の人となれ

小川銀次郎 9~10

目に見えぬ所に働く女

戸板せき子 10~11

母の手許で家事の実習

小林彦五郎 11

種痘を發明する迄の苦心

瀬川 昌世 12~13

中学に婦人の舎監／新女子大学／健康剤の話(二)

——植物ミルクフード

(*画) 宗田 寛 21~22

人の世 黒 百合 23~24

婦人病の精神療法(下) 西川光二郎 25~27

化学的食養法より観たる大豆 石塚 右玄 28~29

大豆料理二三種 西端 学 29~30

お隣りの鶏(二) 小村 夏子 31~33

青梅波 山本 勇夫 33~39

発行人より 39

本社の相談部——職業教育が受けたい方は 40

第六一号 一九一八(大正七)年五月一日

(*画) 齋藤 耕春 表紙

米国に於ける少年少女団の活動(*口絵) 前付 1

巻頭語 青葉若葉 1

(*画) H. KEITARO 1

社会改良の任婦人の手にあり 西川 文子 2~4

田舎の婦人 新渡戸稲造 4~6

小説家としてではなく、たゞの女としてのしづ子

の事 上野山清貞 7

職業に就ての婦人の考が徹底して居ない

十二指腸虫の駆除及予防に就て
 (*短歌) 宮島幹之助 8 ~ 10

救荒食物の調査 三宅 秀 ^{ひじり} 11 ~ 14

衛生経済 豆飯と細切肉 田尻稻次郎 15

女子奉公人教養所 15

甲菊物語 速川ゆくえ 16 ~ 17

餽食くじきのすゝめ 西川光二郎 18 ~ 19

感想録 黒 百合 19 ~ 21

与謝野晶子著、平福百穂画『明星抄』(*書籍紹介) 21

逸話の泉 21

亜米利加魂(岸边福雄) / 茸の玩具(片山天)

絃) / 生ける鶏卵 / 眼によりての教育 小村 夏子 23 ~ 27

紫陽花 高橋千代寿 27 ~ 30

小説 三日記者(上) 30

美濃電車の女車掌——我国初めての試み 36

縁 山本 勇夫 31 ~ 36

燃料節減器 須田 登代 37

乳房の研究 37

読者と記者

文子 / いつ子 / 貞子 / らく子 38 ~ 40

人は万物の霊長 / 神は我知慧 無智無能の婦人 41

本社の相談部——職業教育が受けたい方は 40

第六二号 一九一八(大正七)年六月一日

(*画) (*斎藤耕春) 表紙

口絵 清き人の心と汚れたる人の心 (*ノーベル) 前付 1

巻頭語 汚れたる人の心と清き人の心(口絵の説明) 1

(*画) H. KEITARO 1

婦人の正しき力と正しからざる力 西川 文子 2 ~ 4

現代絵ハガキの一傾向 菅原 敬造 4

寂しき春(*詩) 橘 三郎 5

食物と教育 大江すみ子 6 ~ 9

べにつばき(*詩) 佐々木代志子 9

梅毒の遺伝 岡村 竜彦 10 ~ 11

身体魂 桑田 芳蔵 11

おさよ述懐(上) 速川ゆくえ 12 ~ 13

誕生だ赤飯をたけ 徳富 蘆花 14 ~ 15

飯の炊き方——玄米の効能									
婦人の健康に有効なる杖術	江木	栄子	16	〜	18				
晶子懐紙千首会			18						
与謝野晶子『若き友へ』(*書籍紹介)			18						
中年男女の健康法	西川光二郎		19	〜	21				
主婦の心得べき事									
買物の仕方(記者)／家庭に於ける能率増進									
の大胆自(岸边福雄)／鳩豆飯の実験									
発車まで(一回)	東大寺太代		22	〜	25				
豌豆めし／露の落花生和へ			25						
小説 三日記者(中)	高橋千代寿		26	〜	29				
縁(中)	山本	勇夫	30	〜	36				
新真婦人社の新事業			37	〜	38				
手紙の中から									
玉井／吉田／恒川／長谷川			38	〜	39				
本社の相談部——職業教育が受けたい方は			40						
第六四号 一九一八(大正七)年八月一日									
蘭(*口絵)	江木	欣々	前付	1					
本社の使命									
(*画)									
H. KETJARO									
戦時に於ける英国婦人の活動——日本婦人の及									
ばざる点	西川	文子	2	〜	4				
危険区域にある婦人百二十万	林	歌子	4						
抜手を切る事十哩			4						
子宝国有論	牧野	英一	5	〜	7				
歴史あつて以来の大事件	内ヶ崎	作三郎	7						
第二回婦人小供博覧会			8						
廃物利用									
廃物利用展覧会／廃物と不用品の關係(佐治									
実然)／家庭の廃物利用(河口愛子)			9	〜	11				
夏帯とお化粧と	遠藤	はつ子	11	〜	13				
『鉄道旅行案内』(*書籍紹介)			13						
雪女(上)	速川	ゆくえ	14	〜	16				
神経官能病と精神療法	西川	光二郎	17	〜	19				
ヒステリーと精神療法			19	〜	21				
矢野元子女史			21						
玄米食のすゝめ／砂糖の健康に害あることは／									
家庭健康顧問会趣意書			22	〜	23				

水郷より	小村なつ子	24	山脇	玄	4
雁風呂(鐘情夜話から)		26			5
三日記者(下)	高橋千代寿	27	中村照子、(*文責)記者		6
縁(下の二)	山本 勇夫	33	西川光二郎		7
女子修養塾青葉の舎設立趣意書/青葉の舎規約		38	西川光二郎		8
/青葉の舎賛助員氏名/賛助金受領報告(二)		38	西川光二郎		12
手紙の中から			過食の害		13
矢島楫子/芳美/小島/吉田さかえ/上田き			家庭健康顧問会趣意書/酸素療法器		13
み子/西川文子/西川光二郎	39	41	時局の生んだ婦人(口絵の説明)		14
本社の相談部——職業教育が受けたい方は	42		水蒸気と広重/美術院の展覧会	敏	15
			廉売遊び		18
			雪女(下)		
			清澄山より	速川ゆくえ	19
			事実小説 女中問題(二)	小村なつ子	22
			めくら猫	西川 文子	26
			一か八か(上)	山本 勇夫	29
			女子修養塾青葉の舎設立趣意書/青葉の舎規約		32
			/青葉の舎賛助員氏名/賛助金受領報告		32
			H/M/住山ふく子/日向きむ子		33
			編輯の後		35
			本社の相談部——職業教育が受けたい方は		36
					35
					35
					32
					28
					28
					25
					21
					18
					14
					14
					13
					12
					7
					7
					5
					5

第六五号 一九一八(大正七)年九月一日

米国大統領ウキルソン氏夫人/英国第一の女事
業家マクウオス嬢(*口絵)

本社の使命

(*画)

H. KETTARO

戦時に於ける米国婦人の活動——其の理解力と

組織の力

西川 文子

(*短歌)

与謝野晶子

生活改造と婦人の力

(*画)

MATSUO

1

将来の人力車／タンクの応用(*口絵)

家族制度の将来

2
3
4

結婚が職業の終りなるか

(*埋草)

2
3
5

日本婦人は之れを何んとか見る——過激派露国の婦人／米国婦人労働組合

4
3
6

家賃の値上げに就て

西川 文子

6
3
7

娘を教育した経験から

三角 錫

6
3
7

粉末かつをを使つて見て

小瀬松三郎

8
3
10

どう云ふ人が自殺するか

三角錫／但村はつ子

7

小供の気質

吉田 熊次

10
3
11

『精神運動』(*書籍紹介)／新婦人協会／早川

森田 正馬まさたけ

8

自己教育の必要

西川光二郎

11
3
14

母親よ読め

本間 俊平

9
3
10

心理解剖療法問答(下の三)

石井 柏亭

14
3
17

幸登様／青柳キヨ様

光 二郎

10
3
11

洋画の見方

幸 登 子

18
3
19

タドン成金

光 二郎

10
3
11

雑記帳

東大寺太代

20
3
24

母の愛

光 二郎

11
3
12

桃世とお人形(一)

中村孤月『女が生活するには』(*書籍紹介)

24

婦人社会問題講演会(*予告)

村尾 雅子

14
3
16

木綿デー

西川 文子

25
3
33

澗みし花の行衛

三角 錫子

14
3
16

御教示を……

小野ゆき子

34

(*短歌)

三角 錫子

16

女子修養塾青葉の舎設立趣意書／青葉の舎規約

／青葉の舎賛助員芳名

36

読書涓滴

東大寺太代

17
3
19

／青葉の舎賛助員芳名

同郷人

36

同郷人

東大寺太代

19
3
23

手紙の中から

杉浦／住山／鷺尾／森／M

24

沖野岩三郎氏の宿命を拝見して

文子

27

聖女の死

西川 文

29

青木しん子様の御逝去／女子修養塾特約宿泊所

／青葉の舎規約／青葉の舎賛助員芳名

33

第八三号 一九二〇(大正九)年三月一日

婦人社会問題講演会

婦人と社会問題

西川 文子

2

或美術家の話

眞の婦人解放

本田増次郎

13

読滴涓書(三)

何故夫を理解出来ぬか

東大寺太代

16

このごろ

同郷人(二)

宮田 修

20

手紙の中から

丹下／千葉より(東大寺太代)／京都より

29

(〇〇女史)

31

女子修養塾特約宿泊所／青葉の舎規約／青葉の

舎賛助員芳名

32

第八四号(八週年紀念・婦人と社会問題号)

一九二〇(大正九)年四月一日

八週年紀念婦人と社会問題号

ラツセルの結婚論に就て

宮田 修

2

ゆきえ(*短歌)

橘 三郎

6

眞の教育

三角 錫

7

(*短歌)

女は悲し(*短歌)

原田なみぢ

13

女子の社会問題研究

与謝野晶子

15

人としての日本婦人の価値を論じて

鷺尾よし子

18

新眞婦人愛読の皆様へ

丹波 径子

20

かにかくに(*短歌)

鷺尾よし子

20

電報

幸 登 子

21

同郷人(二)

東大寺太代

25

講演会に就て

高木 ふよ

27

新年号予告

村尾 雅子

14

森山精／山田愛子／竹中しげ子／塚本ななか子

彼等

高木富代子

17

／三角錫／伊藤／奥うめお

飲酒制限運動日記

碧川かた／梅田あき

18

手紙の中から

訪問記

碧川かた

18

張谷きよ／青柳キヨ／高畑良子／北村ちつ子

路傍宣伝の記

碧川かた子

21

女子修養塾特約宿泊所／青葉の舎規約／青葉の

報告

幹事一同

23

舎賛助員芳名／青葉の舎賛助金受領

手紙の中から

石井武太郎／天野藤男／山崎千代／感謝生／

24

第九一号 一九二〇（大正九）年二月一日

新井みな／本沢むめ／関倉三郎

24

禁酒運動御賛助員芳名

26

（*画）

早川桂太郎

表紙

年末に際して

文子

1

妻を讚美する夫

西川 文子

2

労農露国の内情

橘 三郎

7

低唱（*短歌）

村尾 雅子

8

秋（*短歌）

（*画）

（*画）

H. KEITARO

（1）

米国婦人五十年の努力

坂たね子刀自に与ふる

9

児童衛生展覧会を見て

天道是か非か

10

食用蛙

同情と理解

11

カルシウムの服用（健康増進の一方法）

ベン・ビ・リンドセー

12

ラヂーム塗りの時計

5

6

第九五号（九週年紀念号） 一九二二（大正一〇）年四月一日

童謡に就て 中沖 清子 7〜9

春浅く（*詩） 鷲尾よし子 9

小児服裁ち方縫い方（四） 幸 登 子 10〜12

女子夜学機関を所望する動機に就いて F T 女 12〜15

可愛子供との別れ 尼子 松代 15〜18

禁酒デー 唐沢 純正 18

女達に 東大寺太代 20〜23

その傍 西川 文 23〜29

沙翁傑作 ロミオとジュリエット 大谷 華子 29〜30

若き悲しみ 尾崎 恒子 30〜31

草花の月 松宮しん子 32〜33

竹の子の料理五種

手紙の中から

高梨しげる／伊藤絹枝／鷲尾よし子／大熊玉

子／大谷華子／尼子松代／丹下得喜子／梅田

あき子／松崎ひろの／村瀬みち子／宮崎喜代

子／成田玉純／三田操／山田愛子／岸三樹江 34〜36

マツサージの出張治療いたします

（*新真婦人社） 36

第一〇二号（和チャン号）

一九二二（大正一〇）年一月一日

巻頭語 （*西川文子） (1)

（*画） 西川 満 (1)

和チャンは／子供と菓子／亡児の記念事業 西川 光二郎 3〜4

子供を亡ふて得た感じ 西川 文子 4〜12

健康の犠牲 （*詩と短歌）

病児／人生を愛したい／母の苦界／弱り行く 文 子 12〜14、16〜17

我児／棺側に立ちて 但村はつ子 14

（*無題） 吉田 庄七 15

和チャンの早世を悼みて 梅田 あき 15〜16

西川和様の御死去を悼みて 高島平三郎 16

和君の遠去を悼みて親君におくる 村瀬 みち 17〜19

和ちやんの母様へ 高島平三郎 16

別の言葉 尼子 松代 20〜21

小供の雑誌——和ちんの頁（大正六年二月号よ

り

弔詞の中から

前田貞次郎／小畑源之助／梅田あき子／宮武
はる／佐竹兵吉／三田操／小出つる／碧川か
た子／吉川民子／深見陽／松宮春一郎／高島
円／与謝野寛、晶子／野口復堂／長谷川やす
子／堀部久太郎／沼田久野／志知あつ／志知
さと／高村久之助／谷井圭子／西端学／山田
愛子／小口みち子／森山精子／須藤鐘一／但
村はつ子／中島誠子

御礼まで

22
〜
23

28 24
〜
29 28

『新真婦人』執筆者名索引

	あ	石川	5-36
		石川省吾(石川)	5-17, 13-26
		石川貞吉	31-22, 35-10
アウ井ン, フィシアー	5-6	石沢久五郎	32-32, 36-54
青柳キヨ	84-29	石塚右玄	60-28
青柳有美	31-10, 36-23	泉道雄	60-8
あぐり→日向きむ子		市川源三	60-7
浅香桃香(浅香)	12-66, 18-61	一青年	24-68
浅川禿山	28-55	市場鴨村(市場学而郎)	15-8,
朝日胤一	32-13		53-19
安達	3-32, 4-5	いつ子	61-39
渥美勝	5-37	井出茂代〔竹内茂代〕	15-39
安部磯雄	3-10, 14-60, 31-12,	伊藤	84-28
	36-22	伊藤朝子(伊藤あさ, 伊藤あさ子)	8-52, 12-48, 19-56,
天川陽子	33-52		20-56, 24-27・39・69
尼子松代	95-15・35, 102-20	伊藤絹枝	12-67, 95-34
天野藤男	91-25	伊藤証信	8-25
新井みな	91-25	伊藤美寿代	9-59
有田倭文(有田しづ, 有田倭文子)	4-44, 8-49, 12-67,	稲葉茂子(茂子)	19-23, 24-52,
	13-43, 14-48, 18-60,		30-51
	29-53	井上すみ(井上すみ子, すの字)	11-9, 14-60, 19-56,
郁子→鈴木郁子			20-55
生田長江	1-46	入沢常子	33-29
池内澄子→多川澄子		岩野清子(岩野清)	4-37, 36-16
池田勤之助	27-51	巖谷小波	4-37
池田蕉園	3-24, 28-19, 31-前付13,	芋, 芋銭→小川芋銭	
	53-表紙	上田きみ子	64-41
石井武太郎	91-24	上野さくら子	33-32
石井柏亭	80-14		

上野山清貢	61-7	大石栄子	30-67
上村松園	31-前付13	大江すみ子	62-6
ウエルス, エチ・ジイ	53-2	大江 卓	12-27
浮田和民	18-8, 20-42	大久保端造	24-36
薄井秀一	3-15, 5-12, 18-6, 20-6	大熊玉子	95-34
歌路(宇多路)	2-47, 3-47	大沢とよ	36-24
内ヶ崎作三郎	2-31, 4-14・37, 5-49, 10-18, 28-18, 64-7	大谷華子	95-29・34
内田魯庵	1-40	大塚小一郎	22-8
ウッド, マリー・アイ	20-22	大月高陽	25-22, 26-35, 27-40, 31-46, 32-45, 35-48
梅田あき(梅田あき子)	91-19, 95-35, 102-15・24	大森美子	36-54
a 子	21-55	岡田哲蔵	36-22
英国一婦人記者	2-4	岡田八千代	31-42
H	65-33	岡村竜彦	62-10
H. KEITARŌ→早川桂太郎		小川芋銭(芋, 芋銭, U・O)	4-表紙, 5-表紙・前付 6, 6-表紙・(1)・2, 7-表紙・1, 8-表紙・1, 9-1, 10-1
H 女	31-32	小川銀次郎	60-9
A T 女	11-25	小川秀岳	33-19
江木欣々(江木栄子)	33-22, 62-16, 64-前付1	小木曾幸子	31-29
江木 衷	4-26・38	小木曾捨男	27-39, 30-47, 31-23, 34-20
S →藤森静雄		沖野岩三郎	36-18
S・I	9-60	奥うめお[奥むめお]	84-28
S A	2-38	小此木武子	26-27
S 子	24-65	尾崎恒子(たぬき)	1-37, 4-47, 6-58, 23-50, 24-58・70, 25-62, 26-47, 95-30
N 女	24-69	小瀬松三郎	80-8
江原素六	53-28	尾竹一枝	3-25, 6-58
F T 女	95-12	乙部呑海	3-14
M	65-34・26	鬼貫[上島鬼貫]	26-10
遠藤はつ子	9-57, 11-19, 12-65, 18-57, 27-59, 64-11	小野ゆき子	80-34
延命菊	30-59		
正親町ゆみ子	9-60		

小畑源之助	102-24	河村明子	30-57
女コの字→小口みち子		感謝生	91-25
隠明寺しのぶ	33-24	神田駿河台賛成者の一人	1-34
		菊地八峰	28-表紙, 29-表紙・54, 30~36-表紙
か			
算	26-18	岸三樹江	95-36
算	27-12	岸辺福雄	4-38, 9-18, 61-22, 62-21
算 甲太郎	29-19	喜多孝治	24-20
算 潮	3-46	北村ちつ子	84-29
かげろう	2-31	キーツ	6-前付6
片山天絃	61-22	木下尚江	7-46
片山広斗	36-53	きむ→日向きむ子	
加藤さき子	1-43, 33-27	木村駒子(駒子)	1-16・29, 2-17・33・47, 3-12, 4-16・41
加藤咄堂	3-14	玉露女, 玉露→清水玉露	
金沢啓助	2-47	葛岡宗吉	33-40, 34-31, 35-17, 36-50
神沢理一	32-8	クープリン	2-11, 3-16
神近市子	36-24	久米通子	36-26
上司小剣	5-45, 31-12	栗原玉葉	31-前付13・41
上山浦路	1-44	九里原繁	9-10
鴨田修治	25-4	栗原陽太郎	16-58
茅原華山	6-30, 31-14	黒百合	35-46, 36-6・46, 53-32, 60-23, 61-19
からさは・じゆんせい(唐沢純正, 唐沢)	31-50, 32-16・40, 33-10・56, 34-10, 35-8, 36-33, 95-19	桑田芳蔵	62-11
カルデロン	8-前付9	K	21-17
河口愛子	64-11	けい子	24-68
川口露子	6-20	K子	19-57
河崎蘭香	31-前付13・43	ケンニングトン, チ・ビー	18-1
川路歌子	18-60	小生恒子	8-53
川面凡児	32-18, 36-49	小生夢坊(小生ゆめぼ, ゆめぼ, ユメボ, ゆめ坊)	
川浪胡風	3-15, 5-21		

8-26, 22-1, 30-30・32,
31-30・34・49, 33-1・45

27-36, 28-54, 29-6,
30-51, 32-44, 36-55

小出つる 102-25

耕 春→斎藤耕春

光 二 郎→西川光次郎

河野せき子 2-46

河野桃乃 8-52

木陰の女 6-58

小口みち子(小口みち, みち子, 女コの
字, コノ字)

1-5・23, 2-42・43, 3-31,

4-39・43, 5-5・33・46,

6-21・32・40・46・61,

7-12・49・59,

8-1・28・53・54,

9-31・36・63,

10-56・58・70, 11-53・57,

12-50・62, 13-25, 14-61,

15-20・65, 16-41・64,

18-32・51・60,

19-50・51・54, 20-50,

21-53, 22-53, 24-9・70,

102-27

小 島 64-40

孤 蝶 3-43

黒 光→相馬黒光

コノ字→小口みち子

小林彦五郎 60-11

小針久子 36-55

駒 子→木村駒子

小村夏子 53-25, 60-31, 61-23,

64-24, 65-22

近藤なほ子(近藤なを子, なほ子)

12-56・66, 17-36, 24-68,

さ

斎木仙酔 17-19

斎藤紀一 35-14, 36-20

斎藤耕春(耕春) 60-前付1,
61-表紙, 62-表紙

斎藤模子 8-51

斎藤秀三郎氏夫人 5-26

堺 利彦 20-54

坂田せい子 30-67

坂本正雄 3-47, 8-52, 19-29,
20-33, 22-16, 25-51

座古愛子 6-27, 7-9・47, 8-13・37,
9-46, 10-31, 11-17,
12-31, 13-15, 15-21,
16-45, 32-55

佐々醒雪 30-21

笹川臨風 31-11

佐々木代志子 62-9

佐治実然 12-11, 20-31, 31-11・14,
34-44, 36-11, 64-9

佐竹兵吉 102-25

貞 子 61-39

佐 藤 2-47

佐藤朝山 20-1

幸登子[早川幸登] 80-18, 84-21,
95-10

里 子 31-21

さふね 1-42

さわらび, 早蕨→日向きむ子

△ □ 34-23

三田谷啓	27-26	白百合	12-21
山 霊	5-36	新真婦人社	1-20, 2-39, 3-27,
シエレー	2-前付5		4-24, 5-23, 7-24, 8-40,
塩沢昌貞	29-8		9-12, 10-20・45, 11-39,
茂 子→稲葉茂子			12-69, 19-8, 34-53,
志知あつ	102-26		35-7
志知さと	102-26	新真婦人社代理部	53-24
芝 某 女	24-66	新真婦人社同人	11-18
島 成園	31-前付13	菅原敬造	62-4
島田一郎	20-56	杉 浦	82-24
島田筑波(筑波)	20-13, 21-29,	杉浦ふで子	8-52
	22-27・50, 24-60, 25-48	鈴木郁子(郁子)	28-17・23, 31-59
島貫しか子	32-10	鈴木竜司	36-23
島村抱月	4-38	鈴木まさ子	24-15
清水玉露(玉露女, 玉露, 玉野露子)		須田登代	61-37
	8-43, 9-49, 10-46,	須藤鐘一	102-27
	11-49, 12-28, 15-51,	す の 字→井上すみ	
	16-51, 17-42, 18-24,	すみ子	7-62, 8-55, 10-58,
	19-41, 20-46, 22-31・47,		12-43, 14-39, 17-37
	24-55, 25-54, 26-30,	住山ふく子(住山)	65-33, 82-25
	29-36・54, 31-15, 33-20	諏訪の山姥	28-49
志村誠麿	35-12	瀬川昌世	60-12
下川ふぢ子	36-55	セガンチニイ, ゴー	4-前付5
下田歌子	3-14, 4-37	関けさ子	24-67
霜野せき子	14-50, 15-40, 16-50	関倉三郎	91-25
渋柿, 渋柿翁→塚原渋柿園		瀬沼夏葉	1-50, 2-11, 3-16, 5-18,
シユライネル, オリブ	3-19, 5-13,		6-33, 7-16, 8-29, 9-60,
	6-41, 7-30, 8-18, 9-21,		10-15, 11-26, 12-41,
	10-36, 11-29, 12-35,		13-26, 14-34
	13-32, 18-5	千 駄 木	35-5
シ ヨ ー	4-26	操 山	5-17
晶 山	29-41	相馬御風	1-49, 18-6
如 水	4-45	相馬黒光(黒光)	1-22, 2-23
ジョン, エドワード・チ	15-5	蘇 泉 子	26-33

た

- | | | | |
|-------------|---|----------------|---|
| 高木意勢 | 21-54 | 高畑良子 | 84-29 |
| 高木兼寛 | 34-49 | 高村久之助 | 102-26 |
| 高木とせ | 24-68 | 高安月郊 | 6-15, 9-13, 10-12, 12-9,
13-18, 14-23, 15-1・14,
18-29, 20-1・56, 23-11,
24-34 |
| 高木富代子(高木ふよ) | 84-27, 91-17 | 多川澄子(多川, 池内澄子) | 8-52,
25-60, 32-55 |
| 高島平三郎 | 3-6, 4-15, 7-10, 8-14,
12-4, 15-6, 19-2, 23-13,
27-7, 33-8, 102-16 | 田川大吉郎 | 14-13, 31-13, 36-55 |
| 高島米峰(高島円) | 3-45, 5-39,
31-10, 102-26 | 竹内師水 | 31-14, 33-11, 60-18 |
| 高田耕安 | 10-9, 35-21, 53-18 | 竹内千代 | 53-36 |
| 高田集蔵 | 8-52 | 武 田 | 24-19 |
| 高田慎吾 | 12-4 | 竹中しげ子 | 84-28 |
| 高梨しげる | 95-34 | 竹森一則 | 35-39 |
| 高野孤竜 | 28-9, 30-39, 31-44,
32-52 | 田尻稻次郎 | 61-15 |
| 高野重三 | 2-45, 3-19・24, 4-13・40,
5-13, 6-41・58, 7-30,
8-18, 9-21, 10-36,
11-29, 12-35・67, 13-32,
14-40, 15-25, 18-33,
19-15, 21-18, 22-14・41,
23-6, 25-9 | 多田碩男 | 32-21 |
| 高野太吉 | 53-34 | 但村はつ女(但村はつ子) | 23-28,
36-7, 82-7, 102-14・27 |
| 高野復一 | 24-23 | 橘 三郎 | 53-12, 62-5, 84-6, 91-8 |
| 高橋里子 | 6-58, 12-66 | 達 子 | 23-25 |
| 高橋清吾 | 34-24 | 竜 子 | 1-9・19 |
| 高橋鷹蔵 | 8-52 | 立石畝月 | 27-19, 28-45 |
| 高橋達子 | 7-52, 8-33 | 立石蔦枝(蔦枝) | 24-39, 25-30,
26-50, 29-35 |
| 高橋千代寿 | 61-27, 62-26, 64-27 | 田 中 | 36-54 |
| 高橋直蔵 | 9-59 | 田中久子 | 5-11 |
| 高橋ゆき | 22-56 | 溪 一路(溪) | 32-17, 34-14 |
| | | 谷 紀三郎 | 29-39 |
| | | 谷井圭子 | 102-26 |
| | | たぬき→尾崎恒子 | |
| | | タの字 | 15-64, 16-60 |
| | | 玉 井 | 62-38 |
| | | 玉野露子→清水玉露 | |
| | | 田村俊子(俊子) | 2-47, 4-17, 31-20 |

多代, 太代子→東大寺多代	62-22, 80-20, 82-17・19,
丹 いね子	10-26
丹下得喜子(丹下)	83-31, 95-35
丹波径子	84-20
チエホフ	5-18, 6-33, 7-16, 8-29, 10-15, 11-26, 13-26, 14-34
チハチエフ, カ	22-32
千原よし子	14-60
中古の女	6-14
塚原波柿園(塚原, 波柿, 波柿翁)	2-28・47, 10-55, 18-2
塚本なか子	84-28
筑紫の原に住む愛読者の一人	30-67
筑 波→島田筑波	
蔦 枝→立石蔦枝	
綱島佳吉	4-6
恒 川	62-39
坪内逍遙	7-前付10
坪野平太郎	3-14
露 子	4-21, 7-7, 8-7, 9-25, 10-8, 11-20, 14-21, 18-20
デクソン, エルラ・ヘツプウオルト	18-46
てんがう→久留天豪	
戸板せき子	24-17, 60-10
トウエデイ, アレツク	28-35
同人の一人	11-5
東大寺多代(多代, 太代子, 東大寺太代)	29-54, 30-43, 31-26, 32-29, 33-48, 34-26, 35-41, 36-41,
ときのこゑ	2-48
徳富蘆花	62-14
俊 子→田村俊子	
栃 木	33-57
トーマス	14-40, 15-25
豊田暁潮	24-49, 25-52
鳥林あぐり→日向きむ子	
な	
永井 潜	11-22
中尾清太郎(なかを・せいたろう)	13-22, 14-28, 15-43, 16-9, 17-22, 18-41, 19-36, 20-40, 21-39, 22-34, 23-23, 24-45, 25-15, 26-13, 27-24, 28-14, 29-43, 30-26, 31-14, 32-24, 34-46, 36-15・34
中尾フサ	35-31
中沖清子	95-7
中里介山	9-29, 21-33, 27-38, 36-17
中 島	6-58
中島孤秋	3-47
中島誠子	12-66, 36-54, 102-28
中島俊子	2-26
中島鎌太郎	15-49, 35-11
長瀬鳳輔	9-26
永田 稔	32-9

長田雪枝(長田)	25-46, 27-35, 30-62, 36-52	8-2・47・56, 9-2・51, 10-66, 11-2・7・13・42, 12-22・52,
中平文子	15-66	13-2・9・51・52, 14-2・59,
中南定太郎	33-51	15-2・60・65, 16-3・40,
中村	19-49	17-11, 18-1・17・61,
中村春雨	29-34	19-28・52, 20-43,
中村照子	65-6	21-1・51・56,
中村嘉寿	13-16	22-15・51・60,
夏山茂子	3-42, 4-44, 5-34, 6-60	23-2・49・55・56,
なでしこ	5-11	24-2・22・44, 25-2・64,
なほ子→近藤なほ子		26-2・4, 27-2・37・55,
並木さき子	19-57	28-2・24, 29-1・55,
奈良林浅次郎(奈良林)	9-45, 36-22	30-1・46・64,
成田玉純	95-35	31-2・後付4,
西川光次郎(西川光二郎, 光二郎)	8-47, 9-32, 11-36, 12-24, 13-44, 14-53, 15-46, 16-31, 18-9, 19-5, 20-38, 21-45, 22-39, 23-26, 24-29, 25-26, 26-22, 27-9・54, 28-37, 29-14, 30-41, 31-38, 32-36, 33-19・33, 34-34, 35-26, 36-48, 53-9, 60-25, 61-18, 62-19, 64-17・41, 65-7・8, 80-11, 82-10, 102-3	32-2・15・51・55, 33-2・19・56・58, 34-1・51・53・54, 35-2・53, 36-2, 53-22, 60-2, 61-2・38, 62-2, 64-2・41, 65-2・26, 80-6・25, 82-27・29, 83-2, 91-1・2, 95-2・23, 102-(1)・4・12
西川文子(ふみ, 文, ふみ子, 文子, 西川文)	1-2・6・40・46・48, 2-2・6・28, 3-2・37・44, 4-3・48, 5-50・54, 6-2, 7-2・46・55・63,	西川 満 102-(1) 西端学(西端半月) 33-35, 34-47, 35-22, 60-29, 102-27 西村卜堂 29-11, 31-7, 33-16 西本朝春 34-14 西山哲次 6-47 新渡戸稲造 14-10, 20-41, 36-10, 61-4 沼波瓊音 2-25 沼田久野 102-26

沼田笠峰 34-11
 野口小蕙 30-34
 野口復堂 102-26
 野の花 13-31
 ノーベル 62-前付1
 野村 2-47, 3-46, 11-50

は

ハアデング 8-47
 柏女 2-5, 3-5, 4-20, 7-28, 8-9
 白星→平木白星
 白兔女 29-47, 30-52
 白露 23-56
 バンリー, ポール 17-14
 長谷川 62-39
 長谷川時雨(長谷川やす子) 1-49,
 102-26
 八方醜婦 10-50, 11-47, 12-57,
 13-47, 14-44, 15-55,
 16-23, 19-45, 20-5
 鳩山春子 25-5
 花村 3-24
 羽太鋭次 10-10
 浜萩 19-24
 早川桂太郎(H. KEITARŌ)
 53-前付9・29, 60-1,
 61-1, 64-1, 65-1,
 91-表紙, 95-表紙・(1)
 速川ゆくえ 60-14, 61-16, 62-12,
 64-14, 65-19
 林歌子 64-4
 林琴子 1-51
 林静太 36-25

林千歳 4-18
 原胤昭 28-11
 原口鶴子 28-25
 原田なみぢ 84-14
 張谷喜代(張谷きよ) 83-21, 84-29
 Barr, James 26-11, 27-29,
 28-27
 ハント, ホルマン 5-前付5, 6-前付5
 樋口緑子(樋口緑) 2-47, 10-43,
 11-15, 34-25
 久留天豪(てんがう) 19-33,
 25-32, 26-51, 31-37,
 33-43・57
 日向きむ子(日向きむ, きむ, 鳥林あぐ
 り, あぐり, さわらび, 早
 蕨) 1-35,
 2-前付6・13, 5-6,
 6-9・48, 7-23, 8-10,
 9-16・60, 10-2・60,
 11-6・16・40, 12-1・13,
 13-6・41, 14-5・57,
 15-36・54, 16-7,
 17-15・49, 18-28・59,
 19-7, 20-34, 21-5・48,
 22-2, 23-20, 24-40,
 25-36, 65-33
 平木白星(白星) 23-43, 26-11,
 27-29, 28-27, 31-11
 平沢福子(平沢福, 深見陽) 8-53,
 10-49, 11-9, 12-66,
 14-60, 15-50, 17-41,
 19-56, 20-55, 21-37,
 24-28, 28-51, 102-25
 広田兵吉 12-66, 17-49, 20-55,

敏	65-15
フオセツト夫人	11-35
深見 陽→平沢福子	
深 谷	29-54
福島貞子	36-25
福来友吉	35-15
藤井夕子(夕子)	9-60, 17-36, 19-56
富 士 尾	31-19
藤生てい子(藤生貞子)	3-10, 4-47, 20-55, 27-22
富士川游	4-38
藤森静雄(S, 夜美草)	18-前付9, 19-表紙・前付7, 20-表紙・前付9, 21-表紙・前付9, 22-前付9, 23-前付7, 24-前付13, 27-前付9, 35-(1), 36-前付13
婦人記者	12-64
ふみ, 文, ふみ子, 文子→西川文子	
紅 花	10-28, 23-52, 31-33
ヘマンズ	32-24
ホイットマン	2-4
呆 木 生	36-29
某女子教育家	17-46
堀江東花	24-54
堀部久太郎	102-26
本田増次郎	83-13
本間俊平	82-9

前島震太郎	35-19
前田貞次郎	102-24
牧野英一	64-5
マーキノ・ヨシオ	21-39, 22-35
マクムリー, フランク・エム	35-9
松井満油	18-58
松浦政泰	29-7
MATSUO	80-1
松尾大作	14-60, 20-56
松崎ひろの	95-35
マッサーロワ	28-7
松宮春一郎	102-26
松宮しん子	95-32
○ 氏	20-55
○○女子	93-31
霽	18-52
みをつくし(濤標)	15-9, 16-36, 17-21, 18-46, 19-40, 20-22, 21-35, 23-38, 24-64, 25-19, 26-42, 27-42, 28-40, 29-49
幹 雄	5-36
水木歌若	30-29
三角錫(三角錫子)	82-6・7・16, 84-7・28
三田 操	95-35, 102-25
み ち 子→小口みち子	
ミドリ(ミトリ)	32-54, 33-57
碧川かた子(碧川かた)	36-55, 91-18・21, 102-25
三野村きよ(山田きよ, 山田)	

9-51, 11-43, 14-16,		森 村	10-48
15-31・64, 16-15, 17-26,		森村市左衛門	3-47
18-53, 19-10・56,		森山精子	84-28, 102-27
20-25・55, 21-13, 22-17,		モレン, ゴー	5-11
23-16, 24-70			
三宅雪嶺	3-13		
三宅 秀	61-11	や	
宮崎喜代子	95-35	八重子	24-4
宮崎光子	1-10, 2-34, 4-47	矢島楫子	64-39
宮島幹之助	61-8	安井哲子	4-17
宮田修(宮田脩)	2-47, 3-47,	矢野元子	24-26
31-13, 83-20, 84-2		矢作栄蔵	5-12
宮武外骨	30-67	夜美草→藤森静雄	
宮武はる	102-25	山県悌三郎	1-4
雅 歌	5-前付6	山口孤剣	21-49, 30-48, 31-55
明 星	31-36, 33-43	山崎千代	91-25
ミルス, ゼー・エフ	20-20	山路愛山	5-44, 31-12
ミレー	7-前付9	山田愛子	84-28, 95-36, 102-27
向 軍次	4-17	山田, 山田きよ→三野村きよ	
宗田 寛	60-21	山田わか	36-12, 53-13
村井[村井多嘉]	1-49	山の神	5-36
村尾雅子	82-14, 91-9・14	山室軍平	10-21, 31-13
村木きよ	53-40	山本勇夫	35-33, 36-36, 53-45,
むらさめ	12-8		60-33, 61-31, 62-30,
村瀬みち子(村瀬みち)	95-35,		64-33, 65-29
102-17		山盛美喜子	36-55
村田平三郎	31-11, 34-33	山脇 玄	53-4, 60-7, 65-4
メーテルリンク	3-30	山脇房子	3-14
本沢むめ	91-25	U・O→小川芋銭	
モーパッサン	29-19	夕 子→藤井夕子	
桃 代	6-39	ユーゴー, ヴェクトル	21-49
桃割れ女	27-37	有 髪 尼	27-48
森	82-24	弓家七郎	24-65
森田正馬	82-8	湯原元一	33-6

ゆめぼ, ユメボ, ゆめ坊→小生夢坊

百合子 24-69

横浜白耳義総領事館 12-67

与謝野晶子(よさのあき子) 1-15,
5-31, 30-24, 36-55,
65-3, 84-15, 102-26

与謝野寛 26-6, 102-26

吉岡弥生 4-19, 7-23, 11-22,
23-47, 24-11, 31-18,
35-20

吉川たみ子(吉川民子) 3-38,
4-33, 5-28, 6-58, 7-20,
8-45, 9-7, 10-29, 11-11,
15-63, 16-55・60, 18-58,
21-36, 24-71, 29-54,
36-52, 102-25

好子 36-52

吉沢波留子 11-51

吉田 62-38

吉田熊次 80-10

吉田絃二郎 36-23

吉田さかえ 64-41

吉田庄七 16-57, 102-15

吉田静太郎 7-15

吉田静致 60-17

吉野作造 7-13

芳美 64-40

ら

らく子 61-40

ラスキン, ジョン 18-5

柳子 4-9, 6-8, 14-9・30,
15-13, 16-13, 18-14

流蘇女 20-51, 22-59, 23-34

リンドセー, ベン・ビ 95-5

ルツ(留都女) 34-22, 36-53

蘆庵 5-36

わ

ワグスタッフ, ビー・エス 23-38

鷺尾 82-24

鷺尾よし子 84-18・20, 95-9・34

渡辺鼎 6-55, 24-53, 33-38

渡辺文子 1-表紙・1,
2-表紙・前付2・1,
3-表紙・前付2・1・5,
4-前付2・1,
5-前付2・1・6・18・28・36,
6-前付2・21・33・48・58,
31-41

ワード, レスター 19-15